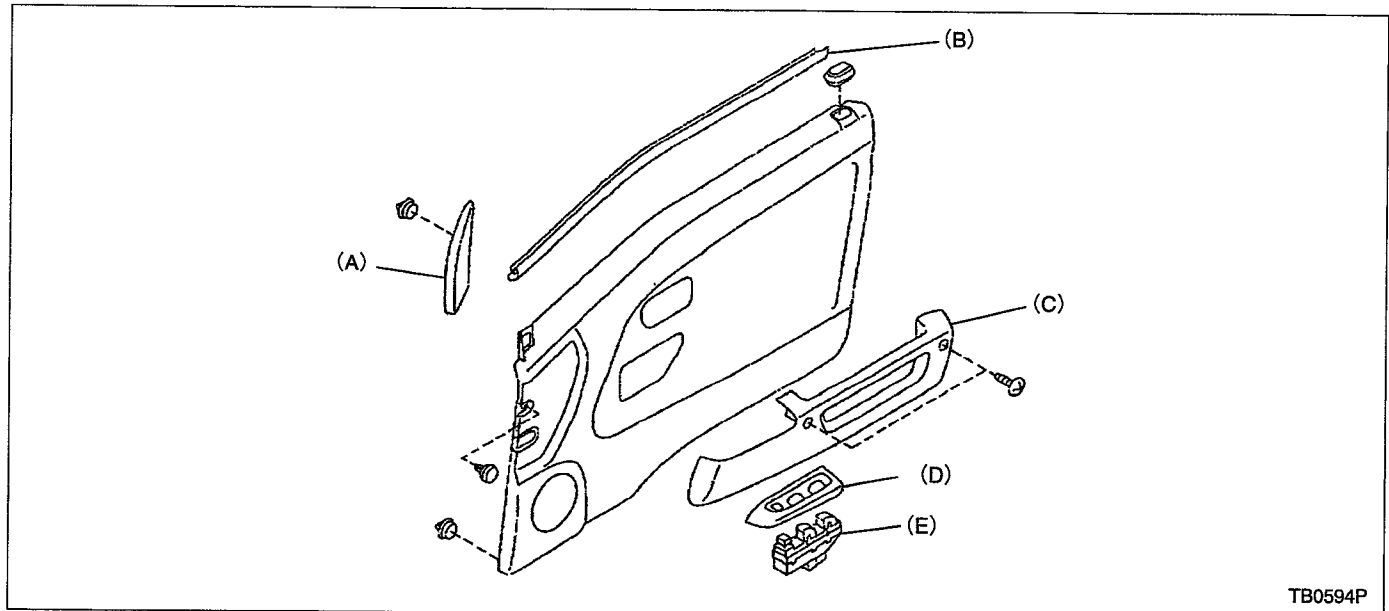

5 ボディ

5-1	ボディ外装・本体	5-2
〔1〕	ドア	5-2
〔2〕	リヤゲート	5-7
〔3〕	シールドガラス	5-9
〔4〕	バンパー・グリル	5-12
〔5〕	サイドパネル	5-14
〔6〕	ボディアライメント	5-16
5-2	ボディ内装	5-18
〔1〕	トリムマツト類	5-18
5-2	ボディ機能装備品	5-22
〔1〕	パワーウィンドウ	5-22
〔2〕	ドアロックシステム	5-23

〔1〕 ドア

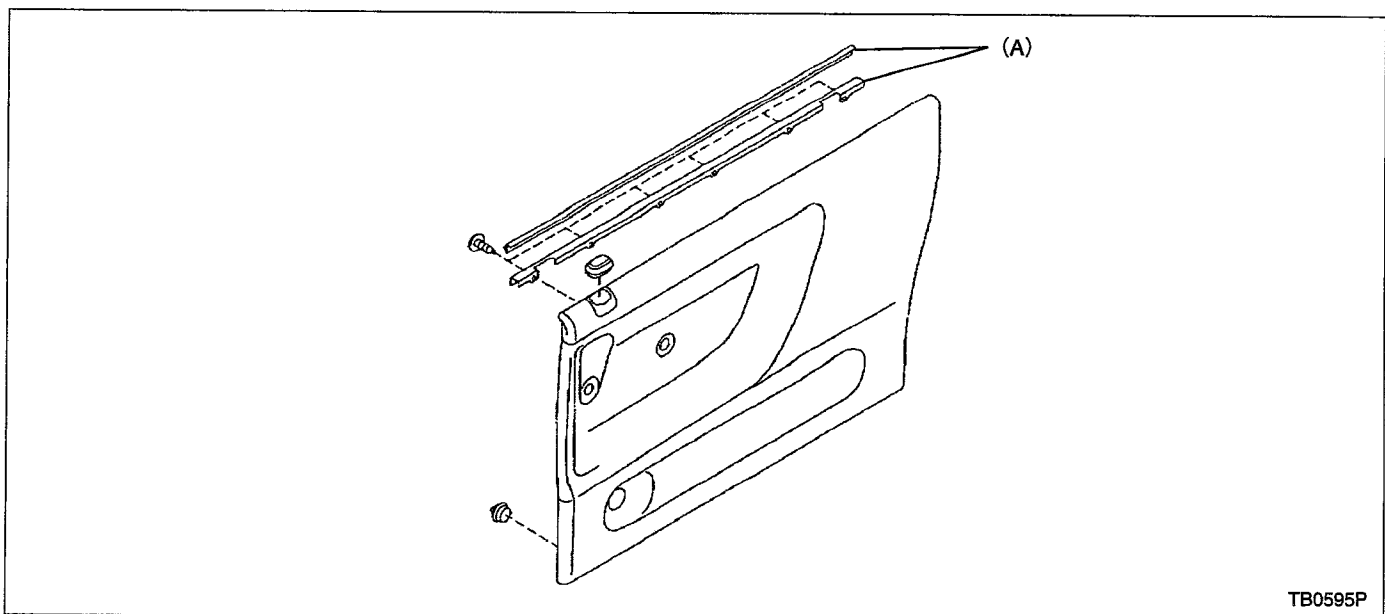
<構成部品>

(1) キャブドアトリム



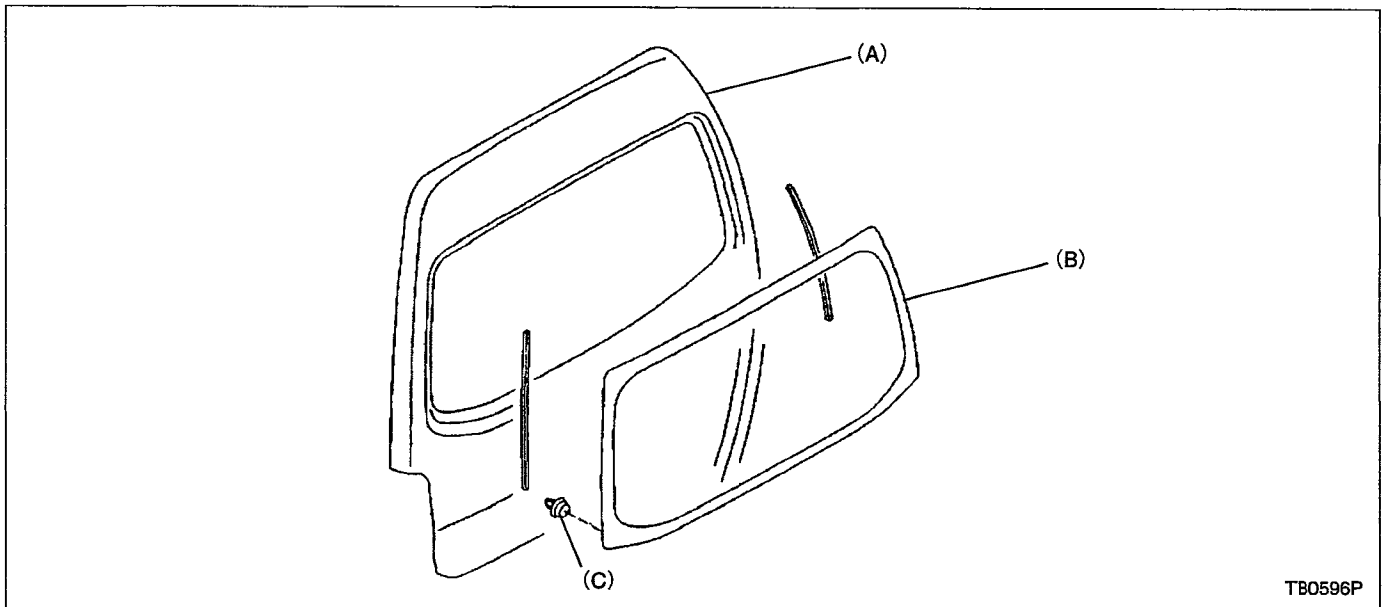
- (A) ガセット
- (B) インナーウェザーストリップ
- (C) アームレスト
- (D) パワーウィンドウスイッチカバー
- (E) パワーウィンドウスイッチ

(2) スライドドアトリム



- (A) インナーウェザーストリップ

(3) リヤゲート



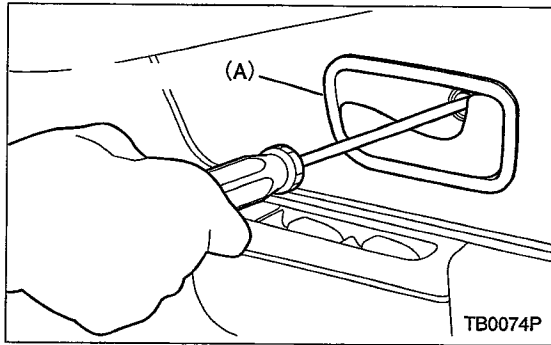
- (A) リヤゲートパネル
- (B) リヤゲートガラス
- (C) マッチングピン

<整備要領>

(1) キャブドアトリム (ワゴン・ディアス)

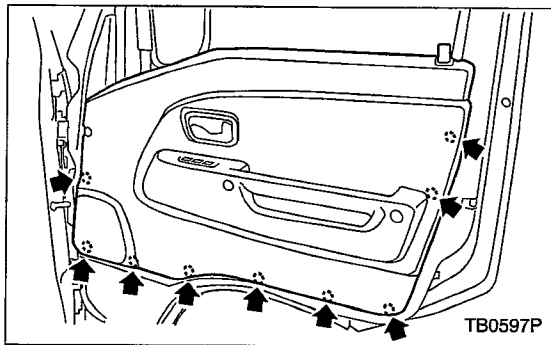
<取外し>

1. バッテリーマイナス端子を外す。
2. ガセットを取外し、ポケット部の取付けビス (2個) を外す。
3. インナーハンドルのビス (1個) を外す。

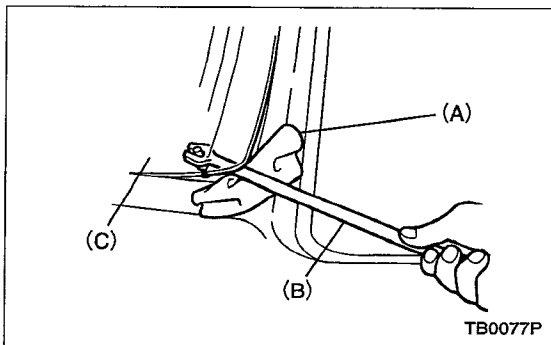


(A) インナーハンドル

4. インナーハンドルを前方にスライドさせ取外し、リンクロッドを分離する。
5. クリッププーラーを使用し、クリップを抜く。



6. クリップが全て外れたことを確認し、トリムを上方に持ち上げながらドアパネルから取外す。



- (A) ウェス
(B) クリッププーラー
(C) パネル

7. パワーウィンドウスイッチコネクターを分離する。

<取付け>

1. パワーウィンドウスイッチコネクターを取付け、リンクロッドをクッションにひっかけ、仮止めする。
2. ドアパネル窓肩に引っ掛けるようにドアトリムを仮付けする。

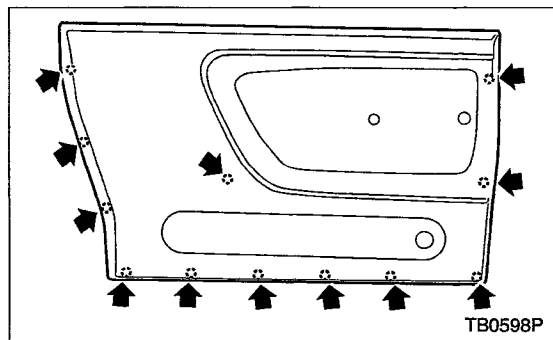
注意：セーフティノブを入れ忘れないように注意する。

3. クリップ位置を合わせ、トリムを取付ける。
4. インナーハンドルにリンクロッドを取付け、前方から後方にスライドさせ仮止めする。
5. インナーハンドルのビス (1個) を取付ける。
6. ガセットを取付け、ポケット部のビス (2個) を取付ける。

(2) スライドドアトリム

<取外し>

1. インナーハンドルおよびレギュレーターハンドル、
を取外す。
2. クリッププーラーを使用し、クリップを外す。



3. クリップが全て外れたことを確認し、トリムを上方
に持ち上げながらスライドドアパネルから取外す。

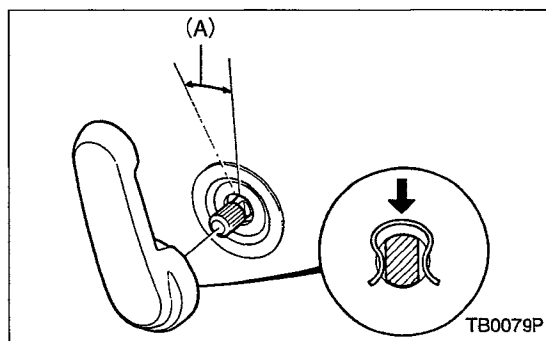
注意：インナーハンドル、レギュレーターハンドルのシャ
フト部にトリムを引っ掛けないように注意する。

<取付け>

1. 上方からドアパネル窓肩に引っ掛けるようにトリ
ムを仮止めする。

注意：セーフティノブを入れ忘れないように注意する。

2. クリップ位置を合わせ、トリムパネルを取付ける。
3. インナーハンドルは、ハンドル切欠き穴にリテー
ナースプリングを取付け、リテーナースプリング
が確実にインナーリモートシャフトに入るまでハ
ンドルを押込む。



(A) 30°以内に取り付ける

注意：エスカッションは、裏側に位置決め用凸があるの
で、裏側に注意して取付けること。

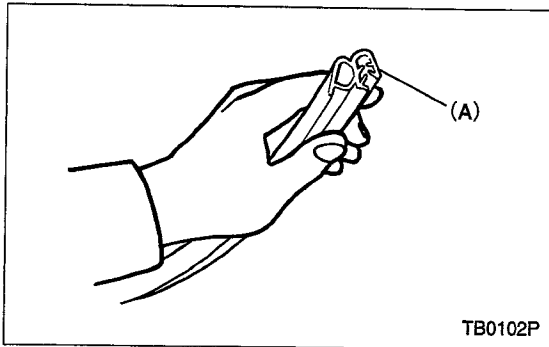
4. レギュレーターハンドルは、ガラス全閉時、上側
45°前方に傾くように取付ける。

(3) ウェザーストリップ

<取外し>

ウェザーストリップをボディフランジから取外す。

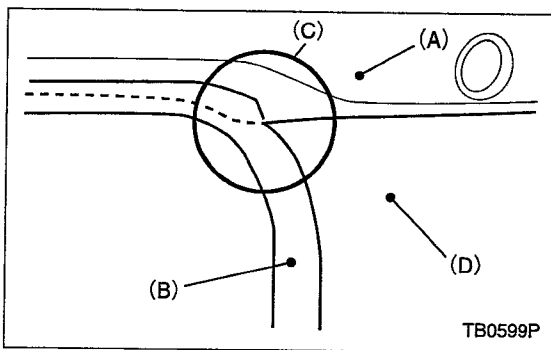
注意：スポンジ部を持たず、ガーニッシュ部を持って取外すこと。



(A) ガーニッシュ部

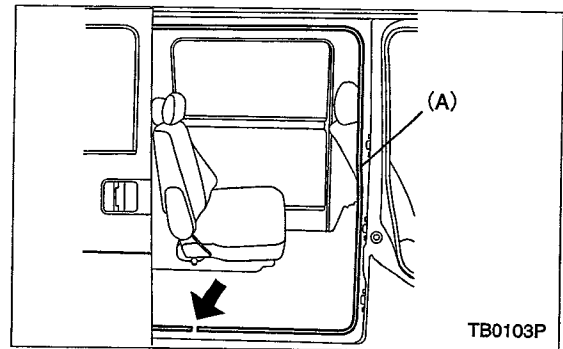
<取付け>

1. ウェザーストリップ切欠き部をルーフトリム下端に合わせる。



(A) ルーフトリム (C) 切欠き部
(B) ウェザーストリップ (D) Cピラー

2. ウェザーストリップの継ぎ目が下部中央になるように取付ける。



(A) ウェザーストリップ

注意：

- 取付け時、引っ張らないで、フランジ根元まで確実に挿入すること。特にコーナー部に注意すること。
- ゴムハンマーを使用し、全周を軽くたたく。
- 強くたたくと、フランジ部またはウェザーストリップガーニッシュ部を変形させる場合があるので、軽くたたくこと。
- 一部トリム追加車の場合、各トリムにウェザーストリップが覆い被さっていることを確認すること。

(4) インナーウェザーストリップ

<取外し>

1. キャブドアー

- 1) ドアトリムを取外す。
- 2) ドアトリムとの勘合部のツメ（8箇所）を起こし、インナートリムを取外す。

2. スライドドアー

- 1) ドアトリムを取外す。
- 2) インナートリム取付けボルト（6個）を外し、インナートリムを取外す。

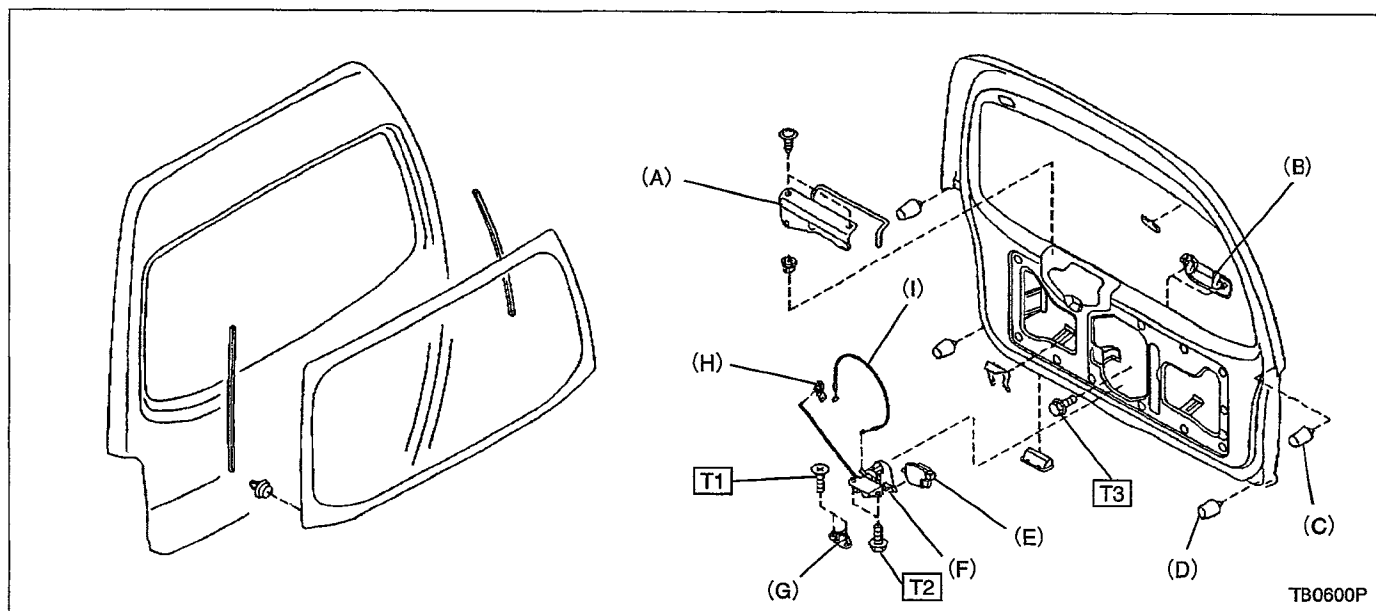
注意：無理に外すと変形する場合があるため注意すること。

<取付け>

取外しの逆手順で行なう。

[2] リヤゲート

<構成部品>



(A) ワイパーモーターカバー

(B) アウターハンドル

(C) 穴あり

(D) 穴なし

(E) アクチュエーター

(F) ラッチ

(G) ストライカー

(H) キーシリンダー

(I) ケーブル

締付トルク

T1 : $18 \pm 4 \text{ N} \cdot \text{m}$ $\{1.8 \pm 0.4 \text{ kgf} \cdot \text{m}\}$

T2 : $25 \pm 5 \text{ N} \cdot \text{m}$ $\{2.5 \pm 0.5 \text{ kgf} \cdot \text{m}\}$

T3 : $7.5 \pm 2 \text{ N} \cdot \text{m}$ $\{0.75 \pm 0.2 \text{ kgf} \cdot \text{m}\}$

<整備要領>

(1) リヤゲートガーニッシュ

<取外し>

1. リヤゲートトリムを取外す。
2. リヤワイパー付車はリヤワイパーアームを取外す。
3. ガーニッシュ取付けナット（4個）を外し、クリップに注意して、ガーニッシュを取外す。

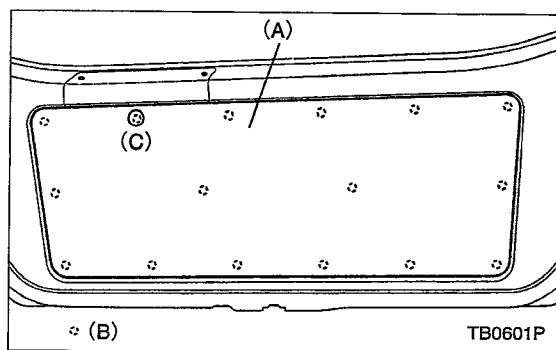
<取付け>

取外しの逆手順で行なう。

(2) リヤゲートハンドル

<取外し>

1. リヤゲートトリムを取外す。



(A) トリムパネル

(B) クリップの位置

(C) 白色クリップ

2. アウターハンドルに接続しているケーブルを切離し、キーロッドを切り離す。
3. アウターハンドル取付けボルト（2個）を外し、アウターハンドルを上方に上げ下側爪を取外す。
4. 下方手前にスライドさせアウターハンドルを取外す。

<取付け>

取外しの逆手順で行なう。

注意：トリムに1か所ある白色クリップが上側になる様に取付けること。

(3) リヤゲートロック

<取外し>

1. バッテリーマイナス端子を外す。
2. リヤゲートトリムを取外す。
3. アウターハンドルを取外す。
4. ロックシステムのロッド、ケーブル、コネクタを切離す。
5. リヤゲート下部のロック取付けボルト（2個）を外す。
6. ロック本体をリヤゲートから取出す。

<取付け>

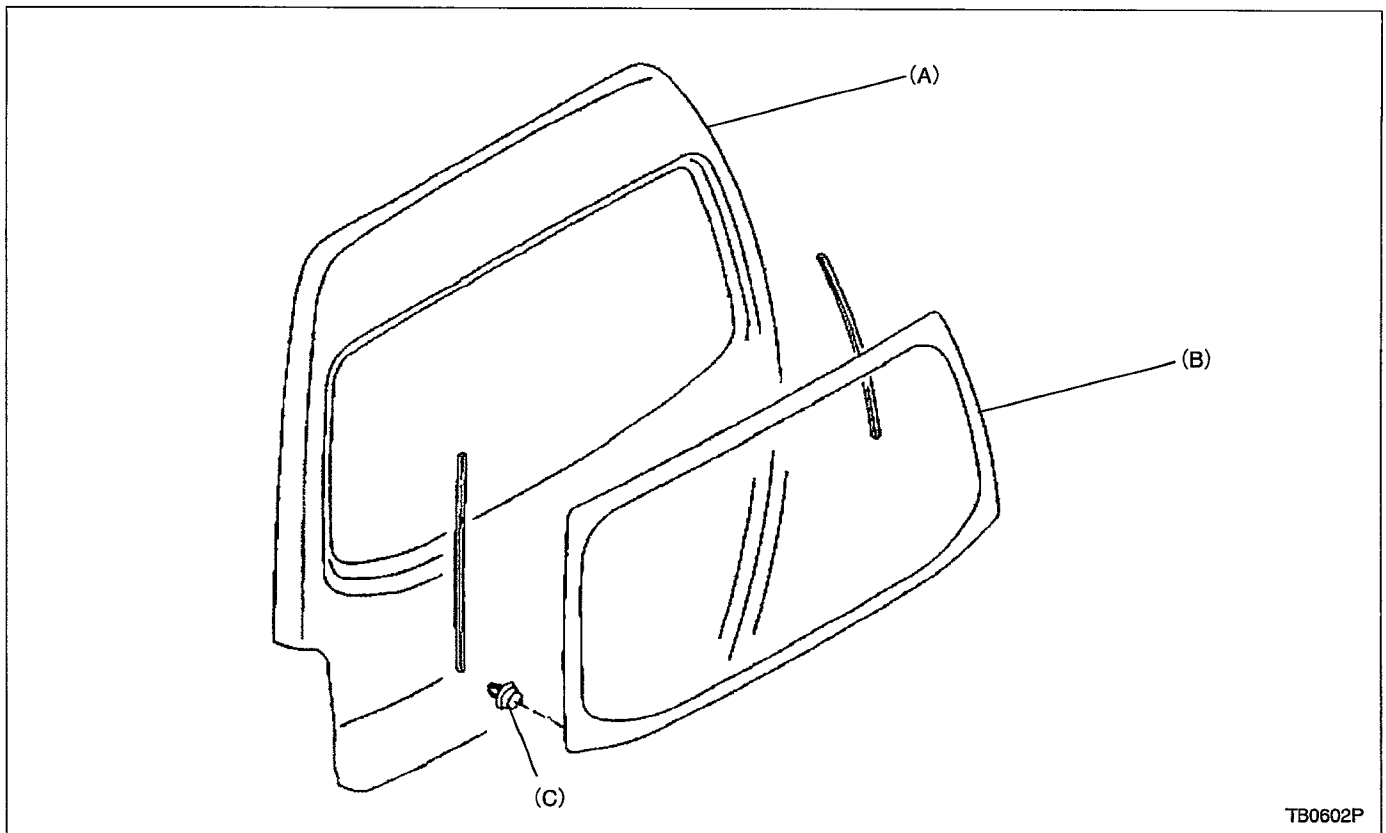
取外しの逆手順で行なう。

注意：

- ロッド、ケーブル、コネクタの接続を忘れないこと。
- ケーブル取付け、取外し時にケーブルに折れを生じさせないこと。
- ケーブルはドアハーネスより外側（アウターパネル）を通すこと。

[3] シールドガラス

<構成部品>



TB0602P

(A) リヤゲートパネル

(B) リヤゲートガラス

(C) マッチングピン

(1) リヤゲートガラス

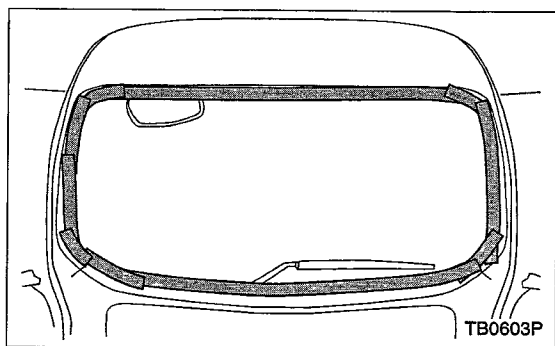
<準備品>

	名 称	用 途
工具 油脂	カッターナイフ ホットウィンドウシールドナイフ ピアノ線	取外し時、接着剤をカットする
	ホワイトガソリンまたはイソプロ ピルアルコール	取付け面の清掃
その他	プライマー	接着剤の下処理剤
	接着剤	ガラスをボディに取付ける

<整備要領>

<取外し>

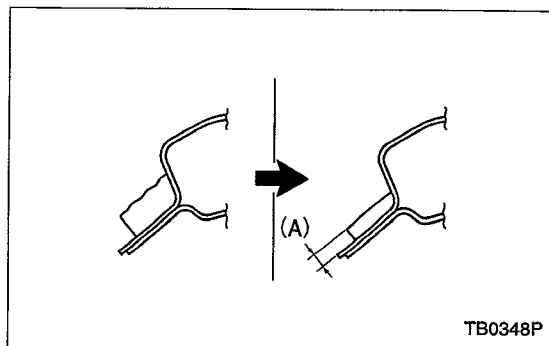
1. バッテリーマイナス端子を外す。
2. リヤワイパーアームを取り外す。
3. ハイマウントストップランプ付車は、ハイマウントストップランプを取り外す。
4. リヤデフォグガー端子のコネクターを分離する。
5. リヤゲートに傷が付かないように、保護テープを貼る。



6. カッターナイフとホットウィンドウシールドナイフを用いて、室内側から接着剤をカットする。コーナー部のピンはピアノ線を通してカットする。
7. ガラスを取り外す。

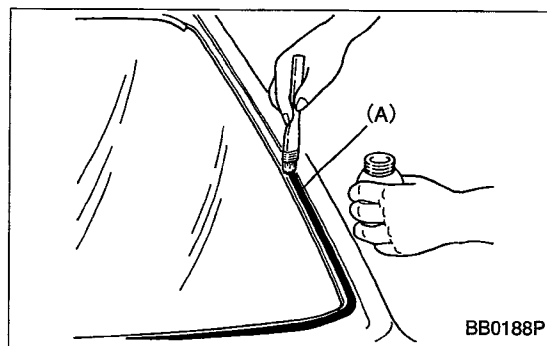
<取付け>

1. リヤゲートに固着している接着剤を削り、平滑な面にし、全周を約1mm以下の厚さに仕上げる。



(A) 1mm以下

2. ガラスに固着している接着剤を落とす。
(ガラスを再使用する場合のみ)
3. アルコールまたは白ガソリンで、リヤゲートおよびガラスの接着面を清掃する。
4. スポンジ、刷毛を用いて、プライマーをリヤゲートおよびガラス接着面に塗布する。

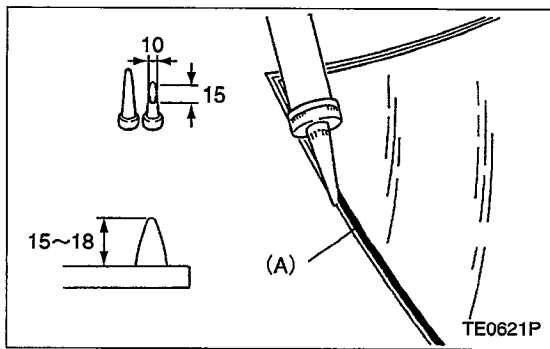


(A) プライマー

注意：

- ボディ塗布面、インナートリム等にプライマーをこぼすと変色を起こす可能性があり、拭取りが困難になるので、必ずマスキングすること。
- 塗布後、約10分間程度自然乾燥させること。
- プライマー塗布面に絶対に手を触れないこと。

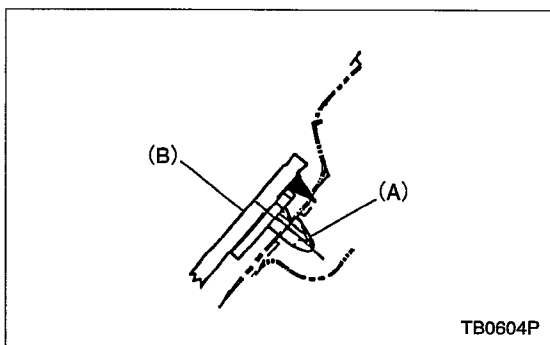
5. ガラスの接着面全周にわたり均一に接着剤を塗布する。



(A) 接着剤

6. ガラスのマッチングピンをリヤゲートの孔に挿入し、ピン、スペーサー部を押して密着させる。

注意：ピンおよびスペーサー部以外を押すと接着剤がはみ出すことがあります。



(A) 基準ピン

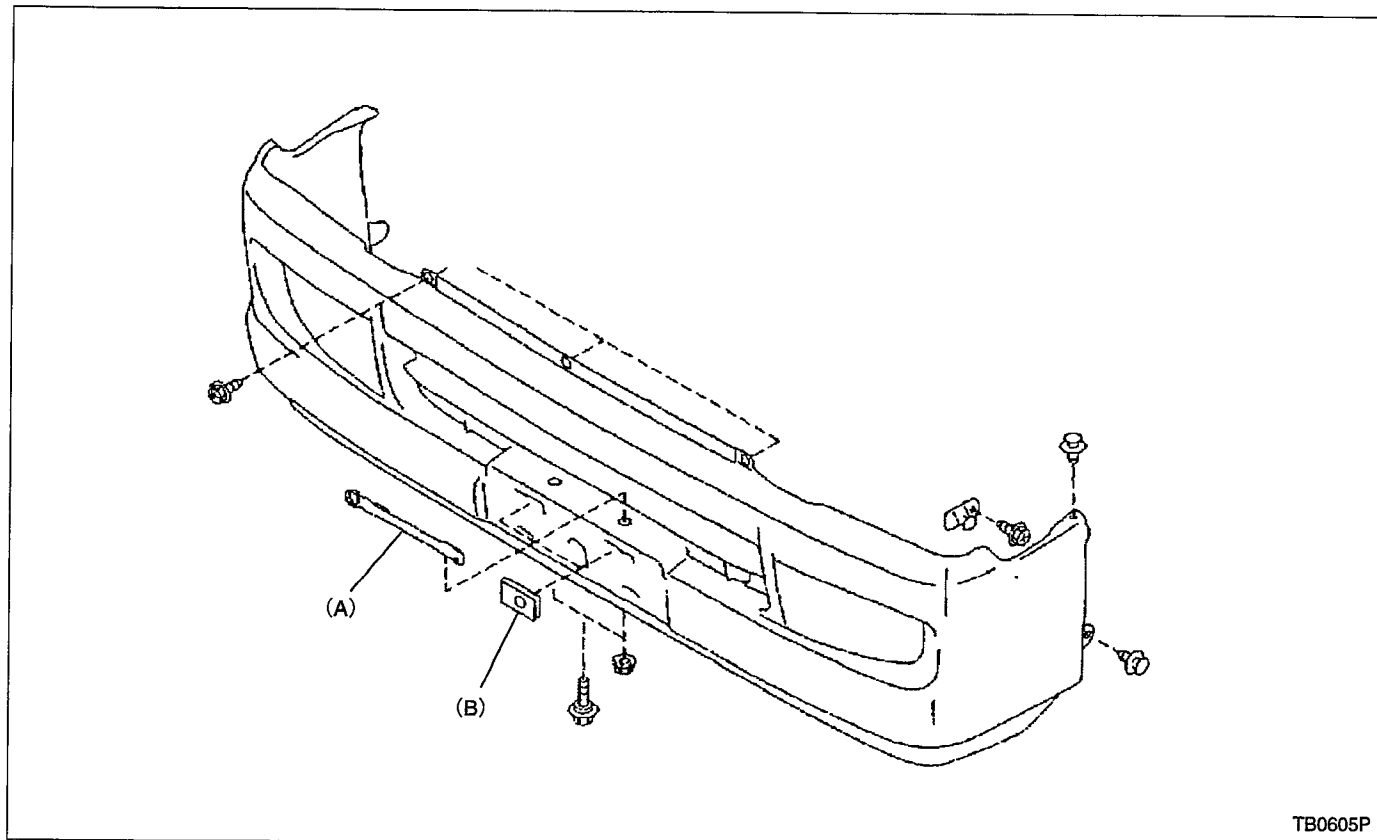
(B) ウィンドウシールドガラス

7. 取付け後、約1時間経ってから水漏れテストを行う。
8. 取付け後、約24時間静かに放置し、自然乾燥させる。
9. ハイマウントランプ付車は、ハイマウントランプを取付ける。
10. リヤデフォッガー端子のコネクターを取付ける。
11. リヤワイパーアームを取付ける。

[4] バンパー・グリル

<構成部品>

(1) フロントバンパー・グリル



(A) ナンバーステア (エアダム無車)

(B) ナンバーステア (エアダム車)

ボディ外装・本体

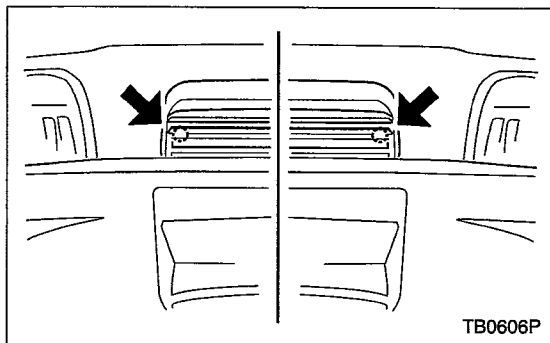
<整備要領>

(1) フロントバンパー

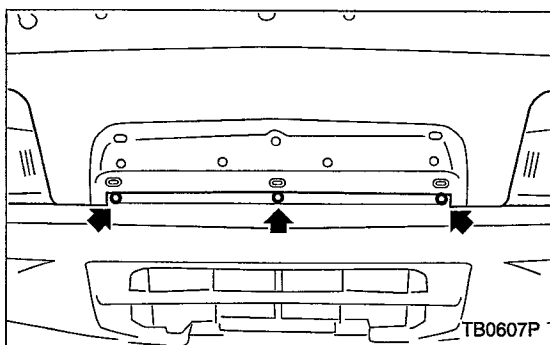
<取外し>

1. フロントグリル左右の穴にマイナスドライバーを差し込み、上方に持ち上げ取外す。

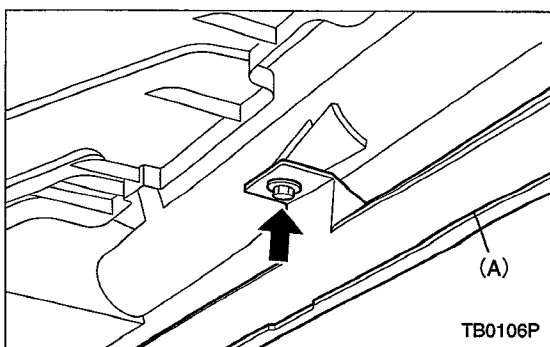
注意：ドライバーにはウエス等を巻き使用すること。



2. バンパー前部のボルト（3個）を外す。

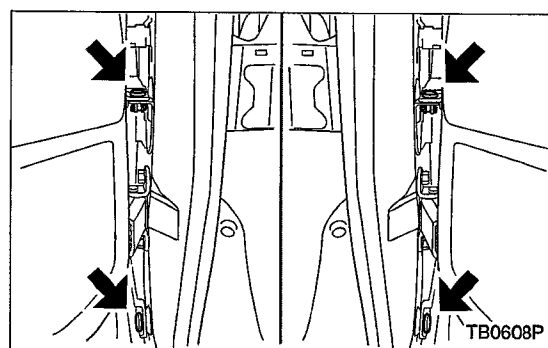


3. バンパー中央下側のボルト（1個）を外す。



(A) フロントバンパー

4. 左右キャブドア脇の取付けクリップ（左右2個ずつ）を外す。



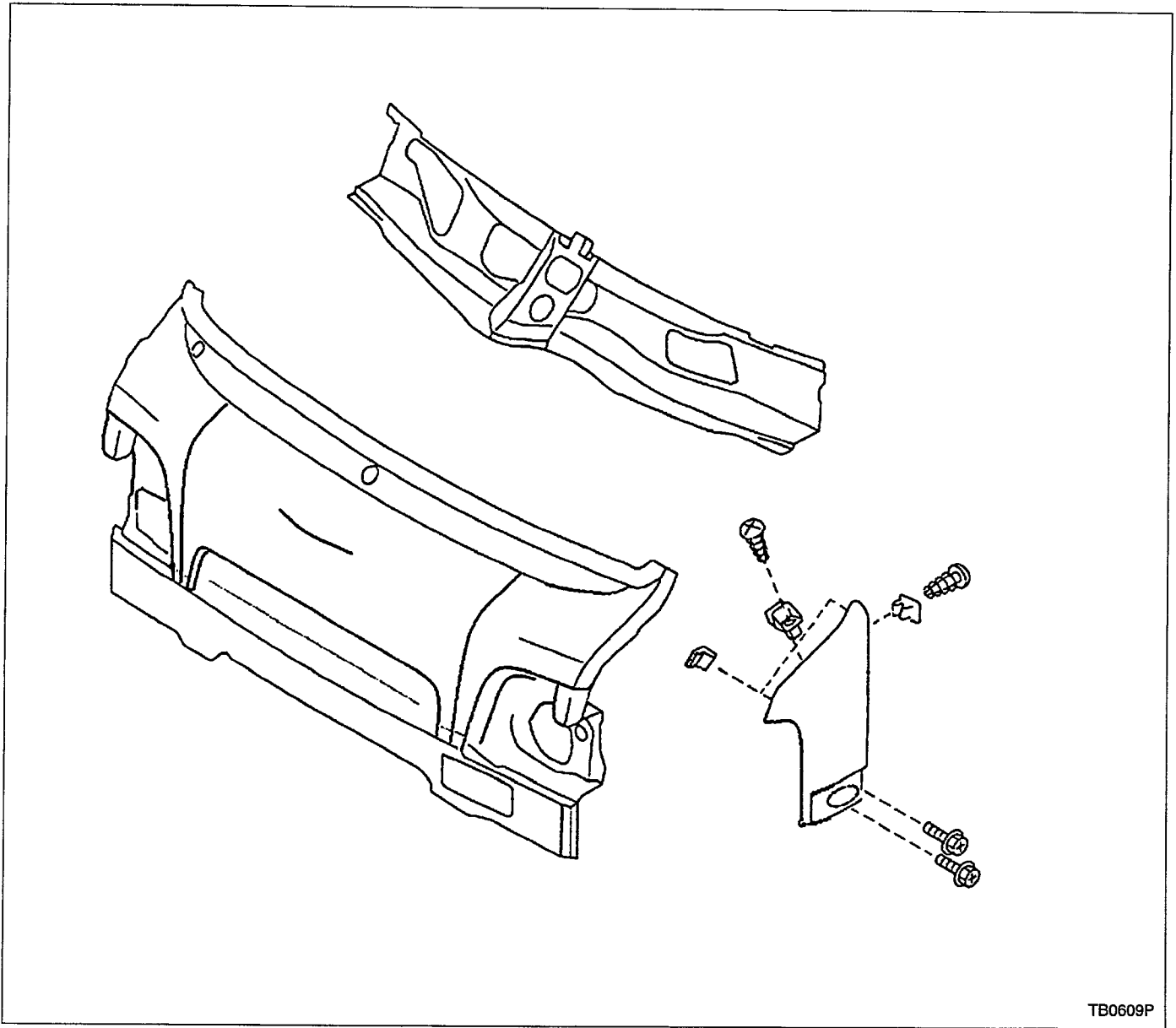
5. バンパーを取外す。

<取付け>

取外しの逆手順で行う。

[5] サイドパネル

<構成部品>

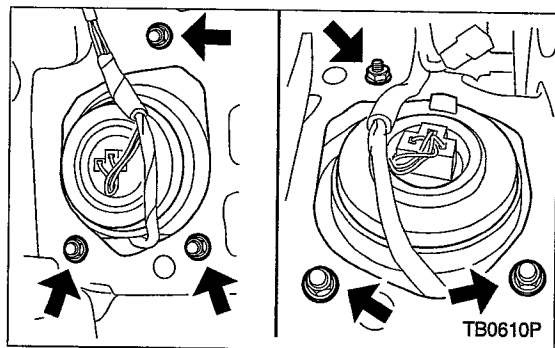


TB0609P

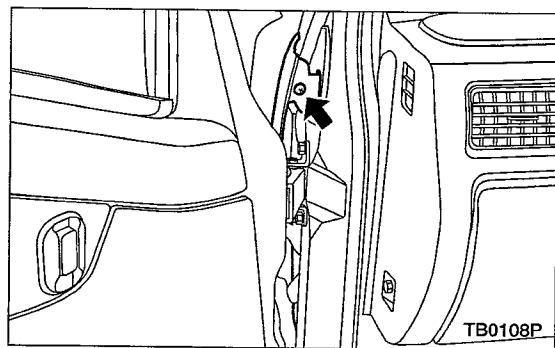
<整備要領>

<取外し>

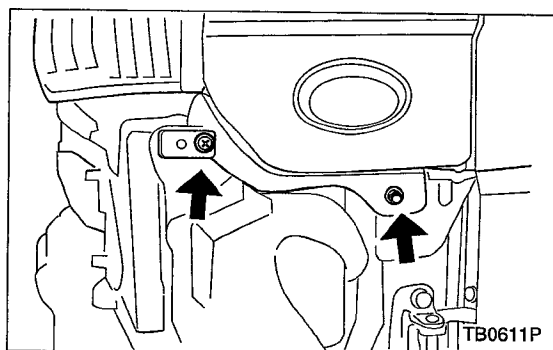
1. バッテリーマイナス端子を取外す。
2. フロントバンパーを取外す。
3. 室内よりヘッドランプカバー取付けボルト（1個）を外し、ヘッドランプカバーを取外す。
4. 室内よりヘッドランプ取付けナット（3個）を外し、ヘッドランプを取外す。



5. キャブドア脇より、取付けビス（1個）を外す。



6. 取付けボルト（1個）ナット（1個）を外す。



7. サイドパネルを上方へ持上げ、フロントパネルクリップより取外す。

<取付け>

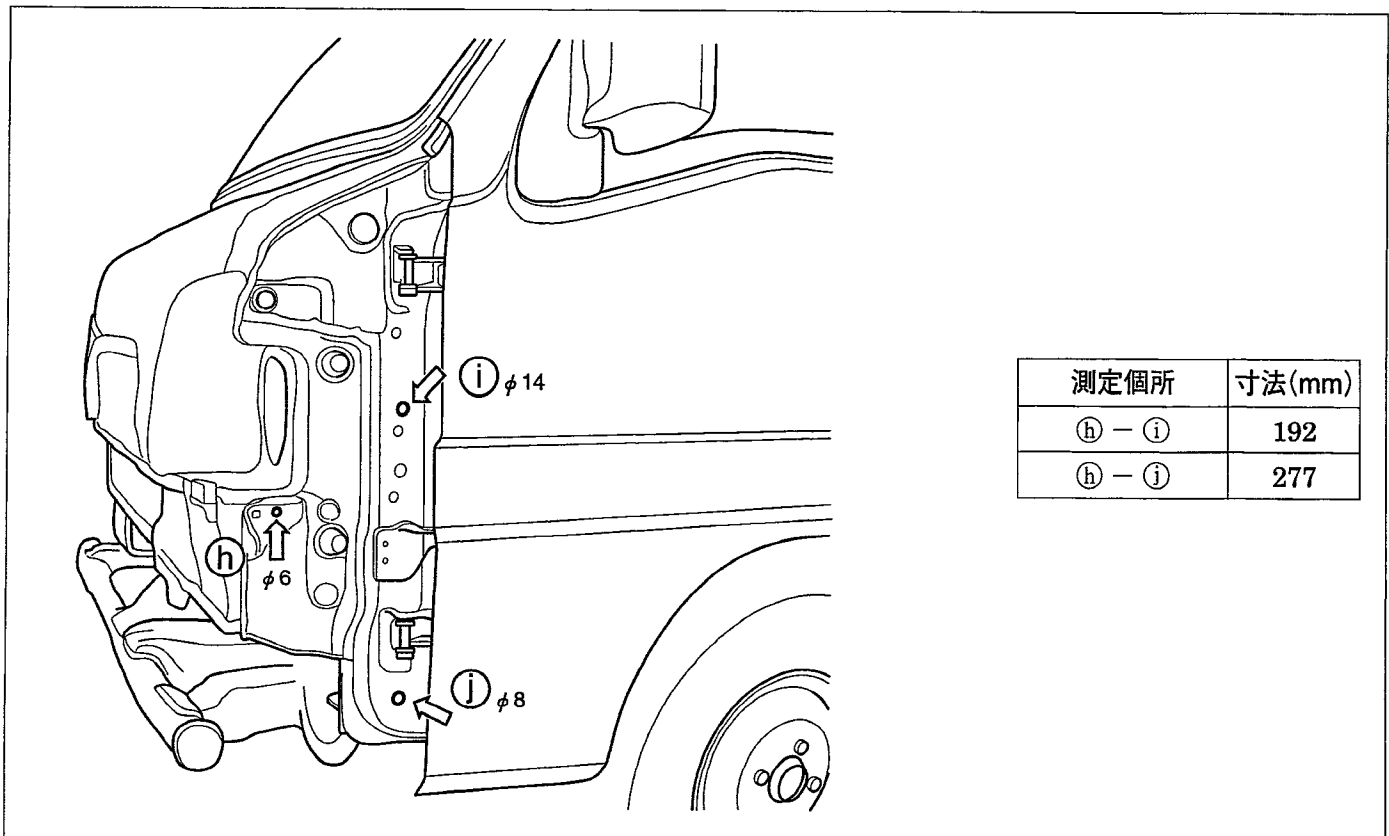
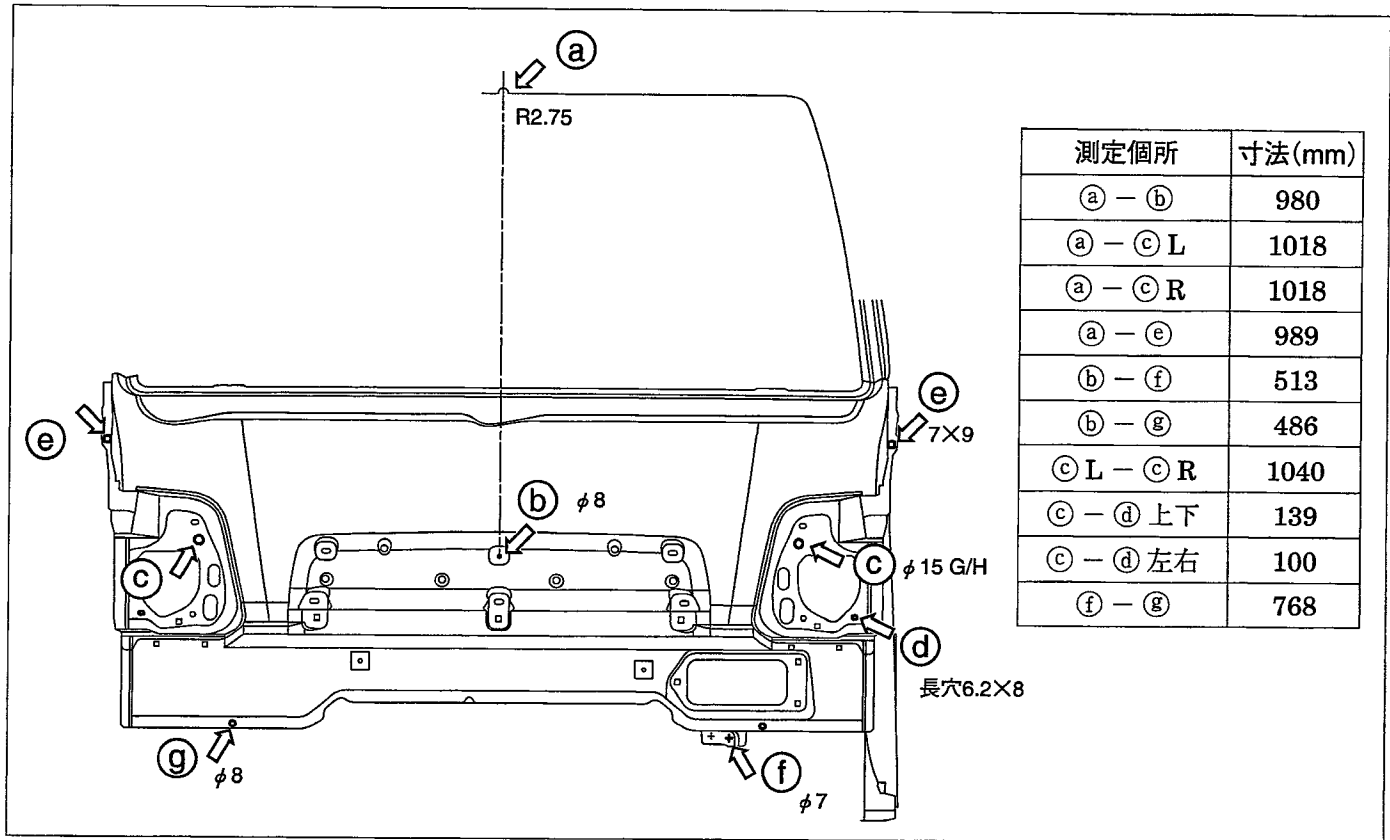
取外しの逆手順で行なう。

注意：取付け後、フロントパネル、キャブドアとの隙間を確認し、同一にすること。

[6] ボディアライメント

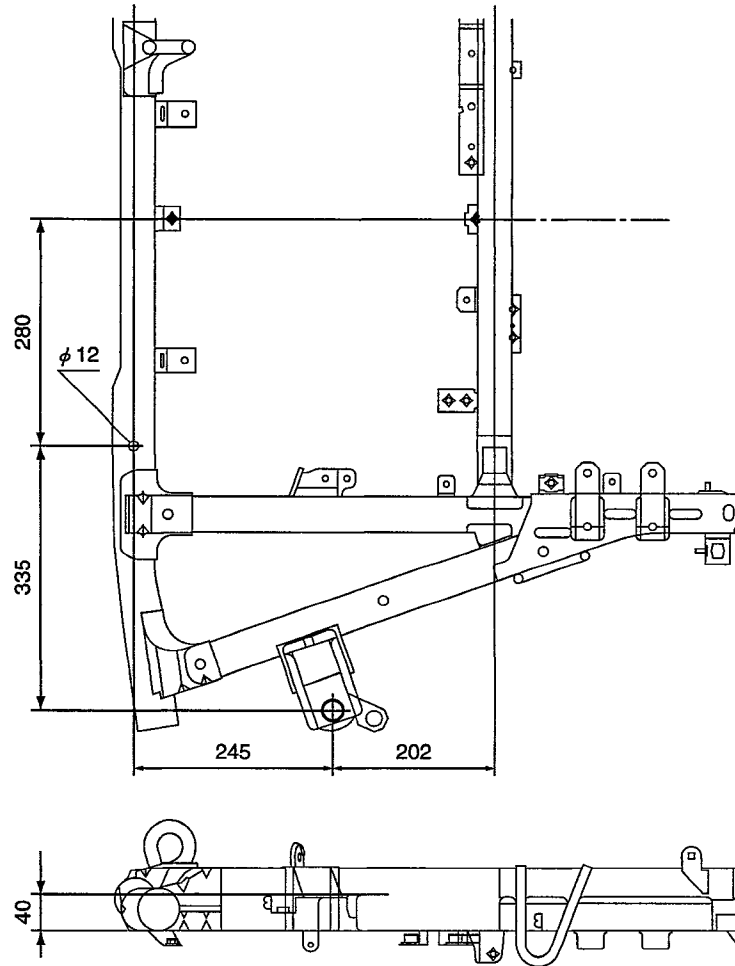
(1) バンパー、グリル意匠の変更に伴い、前面のボディアライメントを一部変更した。

<全車>



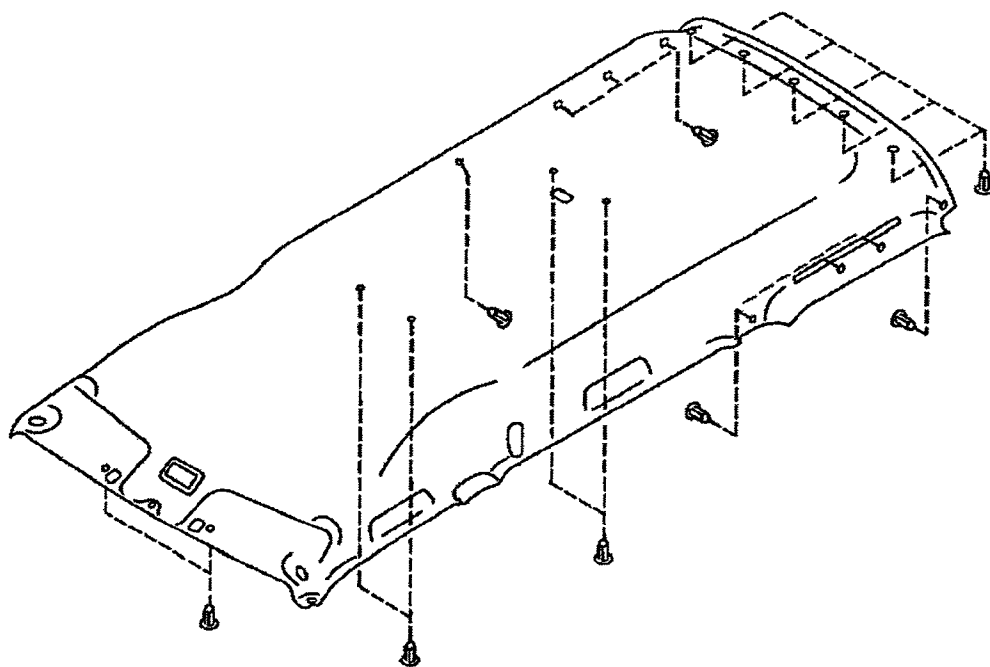
(2) シャシフレームの基準寸法を追加

<全車>



〔1〕 トリムマット類

<構成部品>



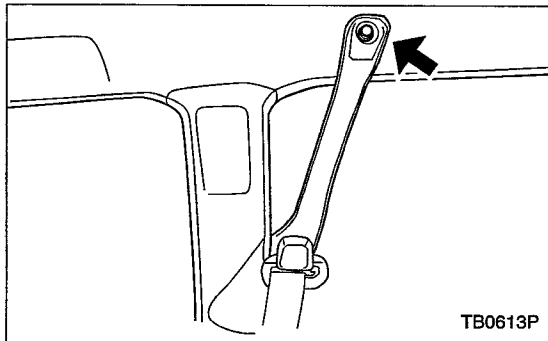
TB0612P

<整備要領>

(1) ルーフトリム（ディアス車、ワゴン車）

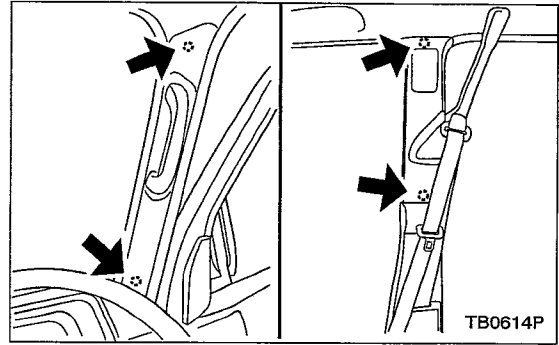
<取外し>

1. バッテリーマイナス端子を取外す。
2. サンバイザー取付けボルト（左右2個ずつ）を外し、サンバイザーを取外す。
3. フックサンバイザー取付けボルト（左右1個ずつ）を外し、フックサンバイザーを取外す。
4. リヤビューミラー取付けボルト（1個）を外し、リヤビューミラーを取外す。
5. ルームランプ（フロント、リヤ）を取外す。
6. 各ドアのウェザーストリップ上面をフランジ部から外す。
7. 右フロントシートベルトブラケットカバー（カスガイ）上部のカバーを外し、取付けボルト（1個）を外す。

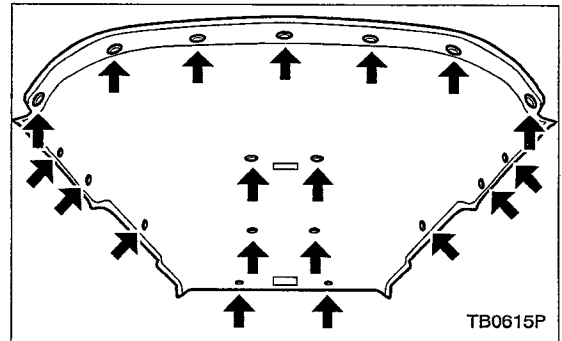


8. 左フロントシートベルトブラケットカバーを外し、取付けボルト（1個）を外し、ショルダーアンカーを取外す。
9. アシストグリップの取付けボルト（各2個ずつ）を外し、アシストグリップ（6個）を取外す。

10. フロント、センターの各ピラートリムを取外す。



11. フロントシートベルトブラケットカバー（カスガイ）下部のボルトを緩め、ブラケットを下方に下げる。
12. ルーフトリム中央部と後部のクリップ（19個）を外す。



注意：クリップを外し始めると、ルーフトリムが下がってくるため、必ず2人以上で作業すること。

13. ルーフトリムを二人で保持し、斜めにしながら床面に降ろす。

<取付け>

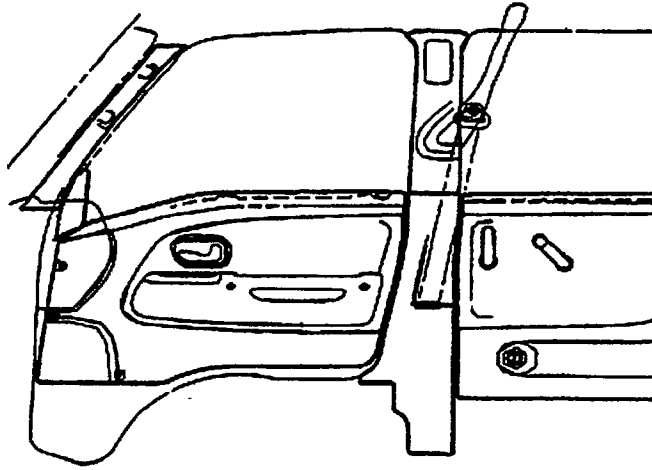
取外しの逆手順で行なう。

注意：

- ルーフトリムのクリップ止めが終わるまで、必ず2人以上で作業すること。
- しわや変形の原因となるため、ルーフトリムを無理に曲げたりしない。

(2) ピラートリム

<構成部品>



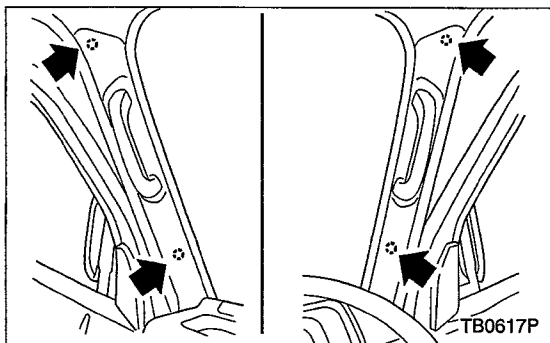
TB0616P

<整備要領>

(1) フロントピラートリム

<取外し>

1. アシストグリップ取付けボルトを外し、アシストグリップを取外す。
2. クリップ位置に注意して、ピラートリムを取外す。



<取付け>

取外しの逆手順で行ないます。

注意：

- トリムを取付けた後に、ウェザーストリップを取付ける。
- ウェザーストリップが挟まれていることを確認する。

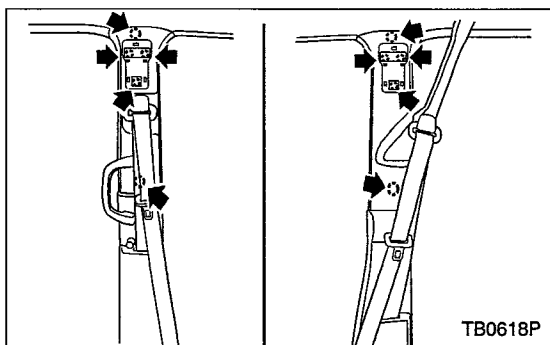
<取外し>

取外しの逆の手順で行なう。

(2) センターピラートリム（アッパー・ロア）

<取外し>

1. アッパートリムカバーを外し、ボルト（3個）を外す。
2. シートベルトブラケットカバーを外し、ショルダアンカー取付けボルト（1個）を外し、ショルダアンカーを取外す。
3. アッパートリムクリップ位置に注意し、アッパートリムを取外す。
4. ロアトリムのクリップ位置に注意し、ロアトリムを取外す。



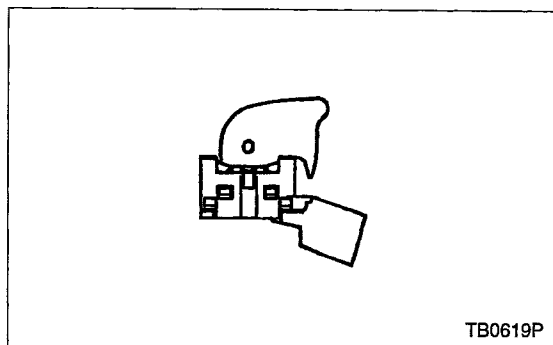
〔1〕パワーウィンドウ

<整備要領>

(1) サブスイッチ

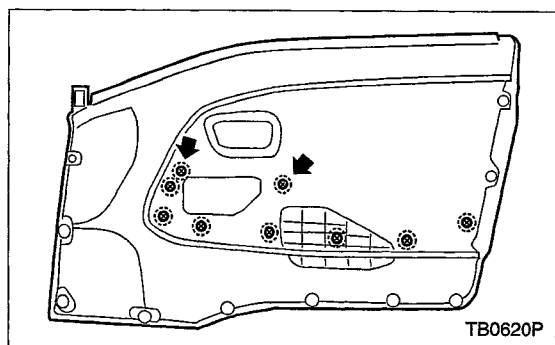
<取付け>

取外しの逆手順で行なう。



<取外し>

1. バッテリーマイナス端子を外す。
2. ドアトリムポケット部の取付けビス (2個) フロント側クリップ (1個) を外す。
3. インナーハンドル部のビス (1個) を外す。
4. インナーハンドルを前方にスライドさせ取外す。
5. ガセットを外し、トリムクリップ (9個) を抜く。

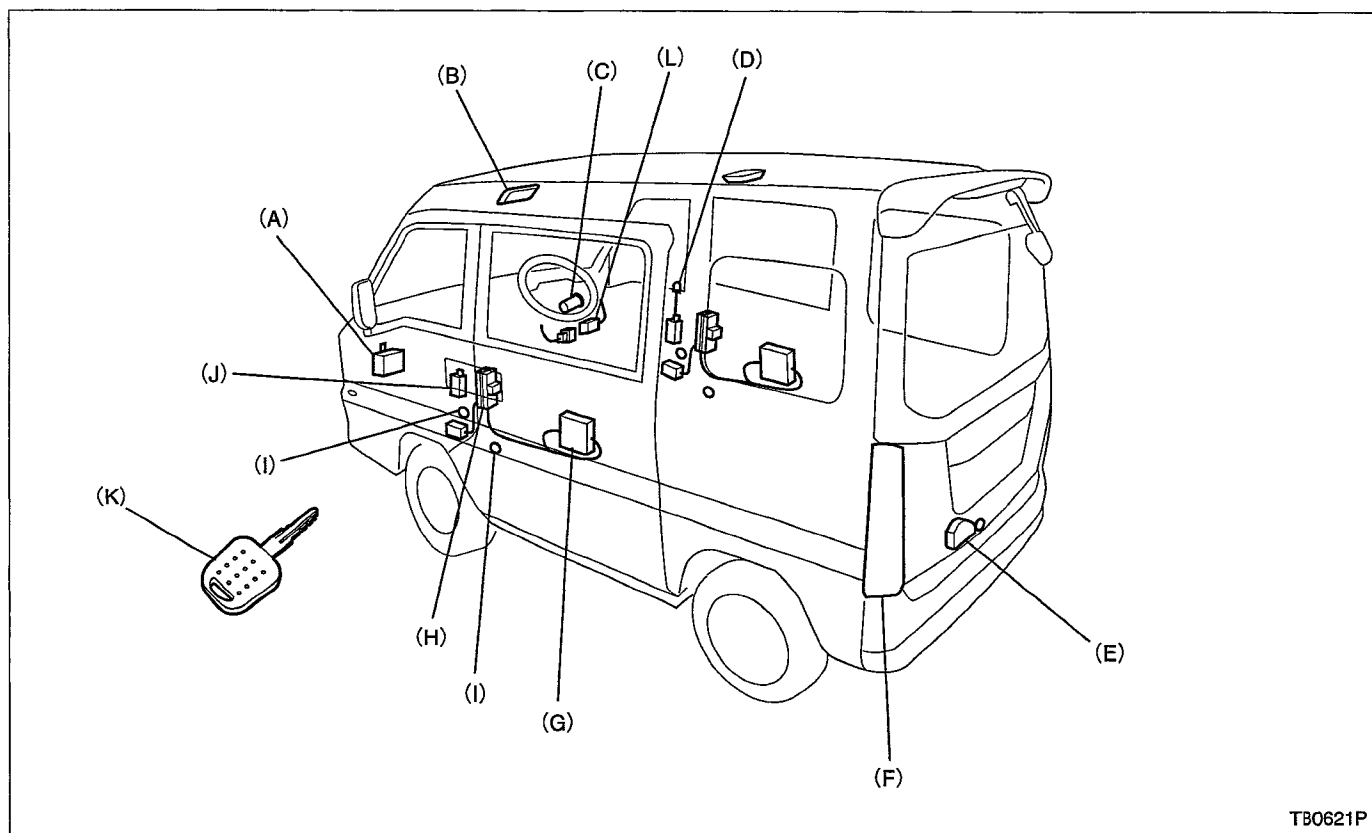


6. パワーウィンドウスイッチコネクターを分離し、トリムを引き上げ、取外す。
7. スイッチパネル取付けビス (2個) をトリム裏側から取外す。
8. スイッチパネルをアームレストから外し、スイッチをパネル裏側から取外す。

[2] ドアロックシステム

(1) 概要

<構成部品>



TB0621P

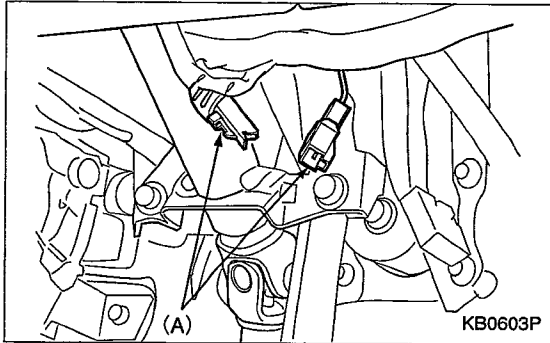
- | | | |
|--------------------|-----------------------|-----------------------|
| (A) キーレスコントロールユニット | (E) リヤゲートロックアクチュエーター | (I) ドアSW (全ドア) |
| (B) ルームランプ | (F) ハザードランプ | (J) 前席ドアロックアクチュエーター |
| (C) キーウォーニングSW | (G) スライドドアロックアクチュエーター | (K) 送信機 (イグニッションキー一体) |
| (D) 運転席ドアロックSW | (H) スライドドアコンタクト | (L) 登録コネクター |

構成部品	主な機能
キーレスコントロールユニット	キーレス作動制御 (受信アンテナ内蔵) ルームランプ点灯, 消灯制御, ハザードアンサーバック点滅制御
登録コネクター	送信機の新規登録、消去
送信機 (イグニッションキー一体)	ロックまたは、アンロック信号の発信
ドアロックアクチュエーター	ドアロックまたはロック解除 (全ドア)
リヤゲートロックアクチュエーター	リヤゲートロックまたはロック解除
運転席ドアロックSW	ドアロック, アンロック状態をコントロールユニットに入力 (アンロック状態でSW ON入力)
ドアSW (全ドア)	ドア開状態でSW ON入力しキーレス制御をキャンセル
キーウォーニングSW	イグニッションキー差込みでSW ON入力しキーレス制御をキャンセル
ルームランプ, ハザードランプ	キーレス作動時に点灯, 点滅

(2) 整備要領

<送信機の登録>

1. ドアがアンロック状態であることを確認する。
2. 運転席側インストルメント下側にある登録コネクター（白1極）を結合する。（登録モードとなる。）



(A) 登録コネクター

3. 送信機のボタン（どちらのボタンでも良い）を2回押すと、この送信機が登録される。続いて、2個目の送信機のボタンを2回押すとその送信機が2個目の送信機として登録される。
（新規登録を行なうと、以前に登録されていた送信機は全て消去されます）
4. 登録が終了すると、確認のため自動的にロック／アンロック作動を行なう。
5. 登録が完了したら、登録コネクターを分離する。
6. 登録した送信機を使用して作動確認を行なう。

<登録送信機の消去>

1. 運転席ドアがアンロック状態であることを確認する。
2. 登録コネクターを結合する。
3. 運転席ドアをロックする。（消去モードとなる）
4. 10秒以内にキーSWへの拔差しを10回以上繰り返す。登録済みの送信機が消去され、運転席ドアが自動的にロック／アンロック作動を行なう。
5. 登録コネクターを分離する。（登録コネクターを結合したままの場合、集中ドアロック機能のみ作動し、他の機能は全て停止される）
6. 送信機によるロック／アンロック機能は停止される。

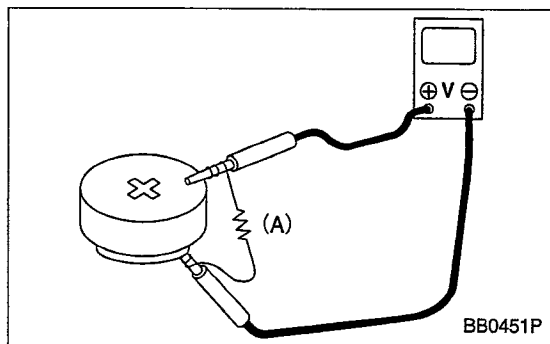
ボディ機能装備品

<送信機バッテリーの点検および交換>

1. 送信機のスクリューを外し、電池を取外す。
2. 下記の図のようにダミー抵抗を接続し電圧を測定する。

参考：

- ・静電気による破損を防ぐため、建物の金属部（ドアノブなど）に触れ人体の静電気を放電してから実施すること。
- ・測定時にはバッテリーが放電するので、5秒程度で終了すること。



(A) 47Ω

テスターの接続		基準値
+	-	
バッテリー プラス端子	バッテリー マイナス端子	2.5V以上

基準値未満の場合は電池を交換する。

交換用電池：CR1620（市販品）

3. 新しい電池に交換し、送信機のスクリューを締付ける。
4. 送信機の作動を確認する。

(3) 故障診断

<準備品>

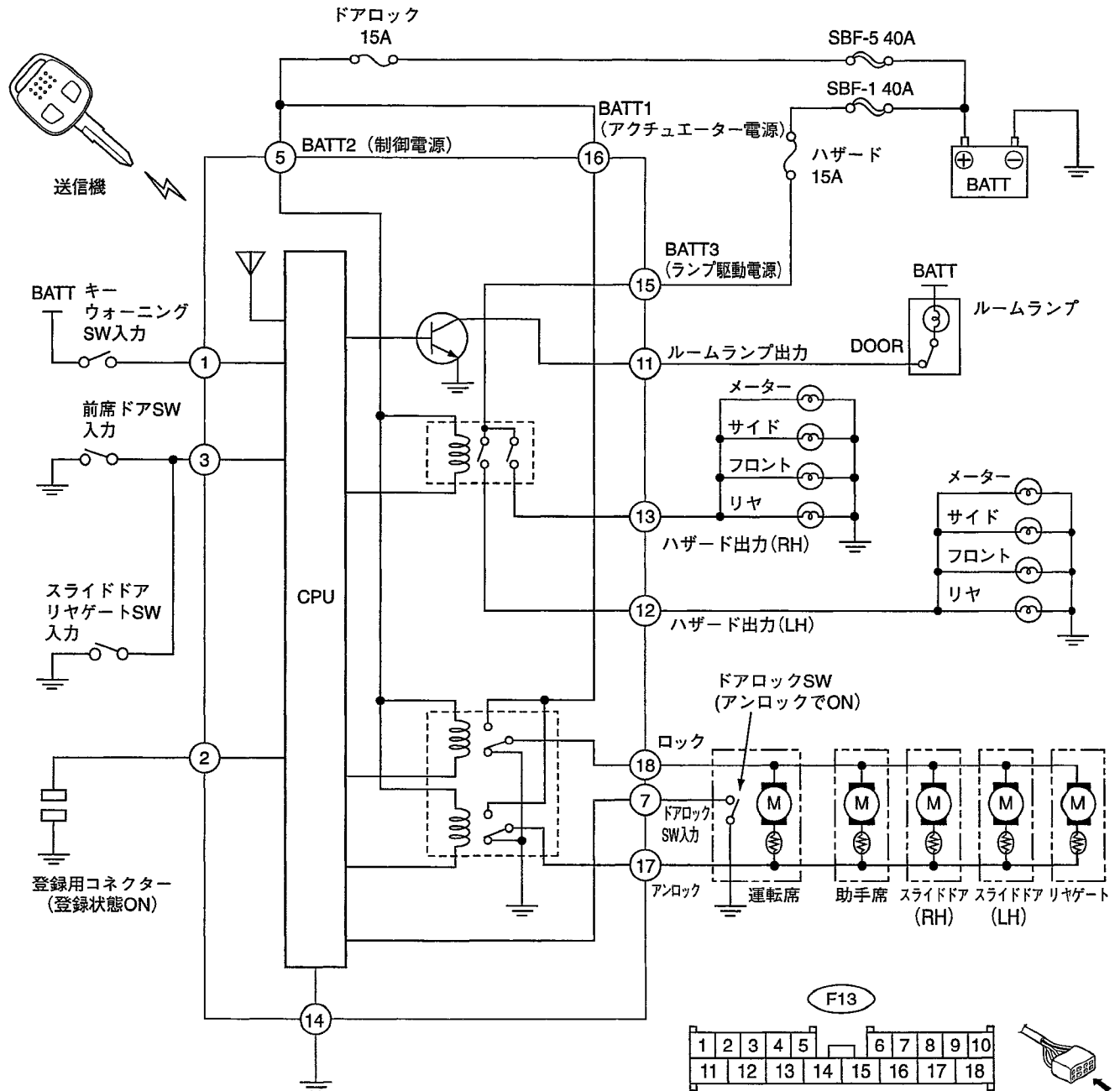
区 分	イラスト	工具番号	名 称	用 途
市 販 工 具		CCP-160×30 (KTC)	クリップクランプリムーバー	内装、外装部品の取外し、ゴム類の脱着
		CCP-190 (KTC)	クリップクランププライヤー	各種クリップ、クランプ類の取外し
計 器	 アナログタイプ デジタルタイプ	—	サーキットテスター (アナログ、デジタル)	各種測定用
		—	オシロスコープ	波形の点検

ボディ機能装備品

<故障現象ごとの診断手順>

症 状 と 推 定 原 因	診 断 手 順
キーレスエントリーシステムに機能が作動しない 1. 全く作動しない ユニット電源、アース系、送信機系の故障 2. 運転席ドアロックSWを使用しても作動しない ドアロックシステムの故障	1. 集中ドアロックの作動点検する。 2. 送信機のバッテリーおよび機能を点検する。(整備要領<送信機の登録><送信機バッテリーの点検および交換>5-24, 25参照) 3. ヒューズを点検する。 (1. ヒューズ点検の項参照5-29) 4. 登録コネクターが結合されていないことを確認する。 5. キーレスコントロールユニットの電源系およびアース系を点検する。 (2. 電源およびアース回路の点検の項参照5-30) 6. キーレスエントリーコントロールユニットの異常の有無を確認する。
送信機が登録できない 1. 登録できない 登録コネクター系の断線 2. 常時登録モード 登録コネクター系のアースショート	1. 送信機のバッテリーおよび機能を点検する。(整備要領5-25参照) 2. 登録コネクター回路を点検する。 (3. 登録コネクター回路点検の項参照5-31) 3. キーレスコントロールユニットの異常の有無を確認する。
ドアロックまたはロック解除が正常に作動しない 1. 運転席ドアロックSWを使用しても作動しない場合はドアロックシステムの不良が考えられる 2. 送信機ロック時「ロック→アンロック」作動, 送信機アンロック操作時「アンロック→ロック」作動する ⇒ドアSW入力系の故障 3. イグニッションキーを挿入していても送信機の「ロック・アンロック」操作ができる ⇒キーウォーニングSW入力系の故障	1. 集中ドアロックの作動を点検する。 2. 送信機のバッテリーおよび機能を点検する。(整備要領5-25参照) 3. キーウォーニングSWを点検する。(4. キーウォーニングSW入力信号点検の項参照5-32) 4. ドアSWを点検する。 (5. ドアSW入力信号点検の項参照5-34) (6. スライドドア, リヤゲートSW入力信号の点検の項参照5-36) 5. ドアロックSW入力信号点検 (7. ドアロックSW入力信号点検の項参照5-38) 6. ドアロック, アンロック出力信号点検 (8. ドアロック出力信号点検の項参照5-39) 7. キーレスコントロールユニットの異常の有無を確認する。
ハザードアンサーバックが作動しない	1. ハザードランプの作動を点検する。 2. ハザード出力信号を点検する。 (9. ハザードランプ出力信号点検の項参照5-41)
ルームランプ作動が機能しない	1. ルームランプの作動を点検する。 2. ルームランプ出力を点検する。 (10. ルームランプ出力信号点検の項参照5-42)

<入出力図>



ボディ機能装備品

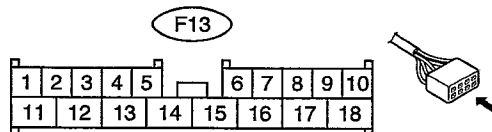
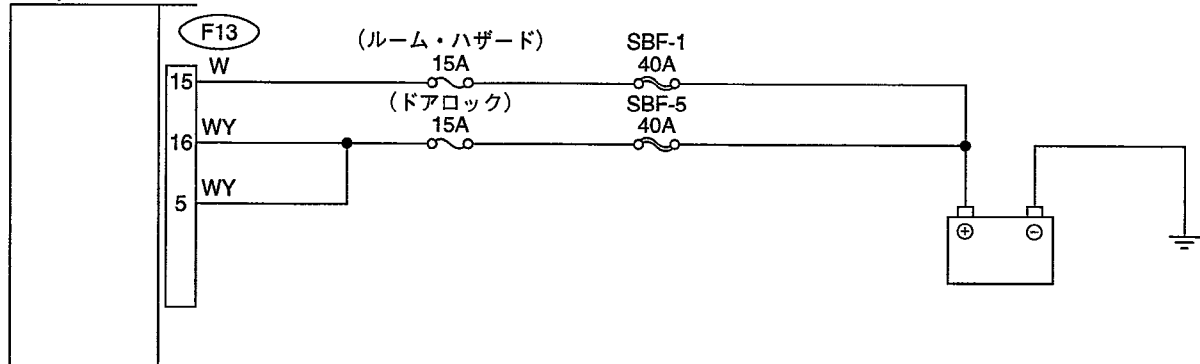
<入出力値>

入出力信号	端子番号	線 色	測 定 条 件	測 定 値
電源 (+B)	5	WY	常時	バッテリー電圧
	15	W		
	16	WY		
キーウォーニング SW入力	1	BL	IGキーシリンダーにキーを挿入	バッテリー電圧
			IGキーシリンダーからキーを抜く	約0V
前席ドアSW入力	3	RY	ドアが開いている	約0V
			ドアが閉じている	バッテリー電圧
アンロックSW入力	7	WG	運転席をロックする	バッテリー電圧
			運転席をアンロックする	約0V
アース	14	B	キーレスユニット～ボディアース間で抵抗測定	約0Ω
ロック出力	18	LgB	送信機のロック操作を行なう	ロック出力時にパルス出力
アンロック出力	17	GW	送信機のアンロック操作を行なう	アンロック時にパルス出力
登録コネクター	2	BR	コネクター接続時	約0V
			コネクター分離時	約5V
ルームランプ出力	11	RG	送信機でアンロック操作	約0V
			送信機でロック操作	約12V
ハザード出力 (RH)	13	GR	送信機でアンロック操作	パルス出力2回
			送信機でロック操作	パルス出力1回
ハザード出力 (LH)	12	GL	送信機でアンロック操作	パルス出力2回
			送信機でロック操作	パルス出力1回

<各回路の点検>

1. ヒューズの点検

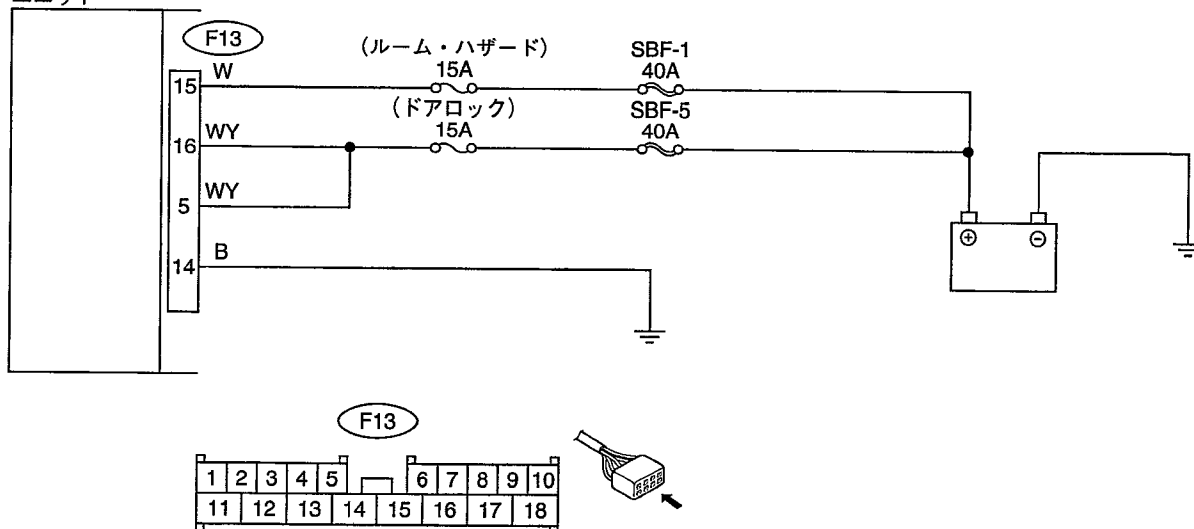
キーレスコントロール
ユニット



手順	作業	基準値	基準値内の場合	基準値外の場合
1	ヒューズの点検 ヒューズボックス内の「ドアロック 15A」, 「ルーム・ハザード 15A」を取外し, 目視点検する	ヒューズは切れていない	2 項「電源及びアース回路点検」を実施する	新品のヒューズに交換する (電源ハーネスのボディショートの有無を確認すること)

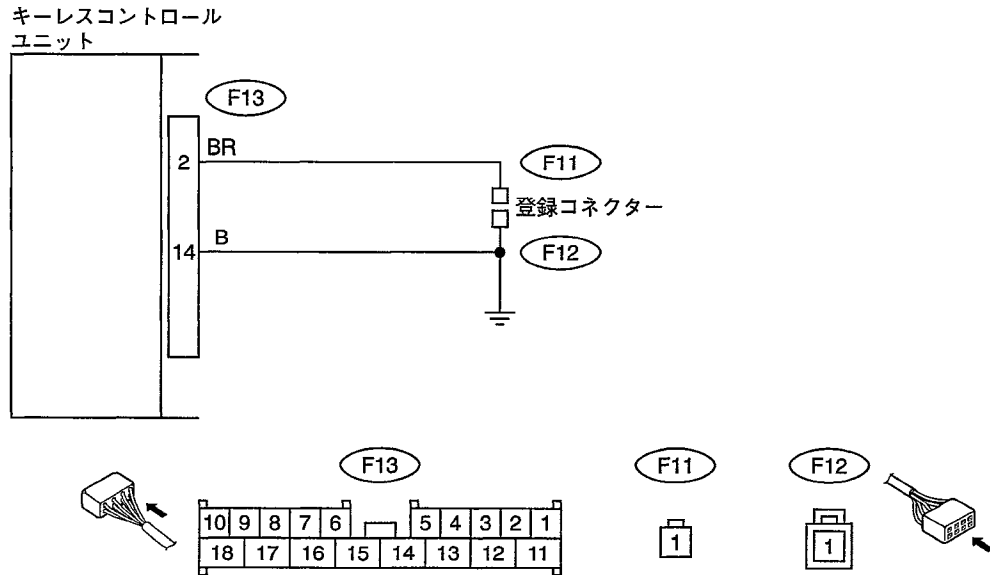
2. 電源およびアース回路点検

キーレスコントロール
ユニット



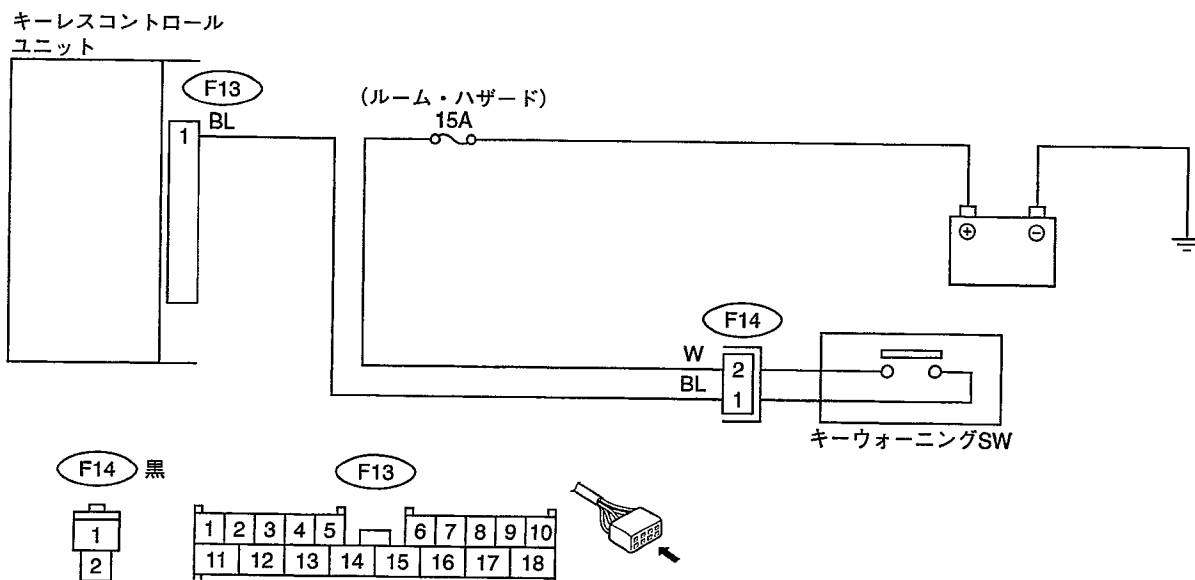
手順	作業	基準値	基準値内の場合	基準値外の場合
1	電源の点検 1. キーレスコントロールユニットのハーネスコネクタを分離する 2. ハーネスコネクタの以下の端子電圧を測定する • F13の15番端子とボディアース • F13の16番端子とボディアース • F13の5番端子とボディアース	10V以上	手順2へ	キーレスコントロールユニットとヒューズ間のハーネスの断線, ショートを点検する
2	アース回路の点検 以下のハーネスコネクタ端子とボディアース間の抵抗を測定する コネクタ&端子 • F13の14番端子とボディアース	10Ω未満	電源およびアース回路は正常	ハーネスを修理する

3. 登録コネクタ回路点検



手順	作業	基準値	基準値内の場合	基準値外の場合
1	登録コネクタの入力電圧点検 1. 登録コネクタを分離する 2. キーレスコントロールユニットのコネクタの以下の端子電圧を測定する • F13の2番端子とボディアース	約5V	手順2へ	ハーネス又はコネクタを修理する
2	登録コネクタの入力電圧点検 1. 登録コネクタを接続する 2. キーレスコントロールユニットのコネクタの以下の端子電圧を測定する • F13の2番端子とボディアース	0V	登録コネクタ回路は正常	ハーネス又はコネクタを修理する

4. キーウォーニングSW入力信号点検

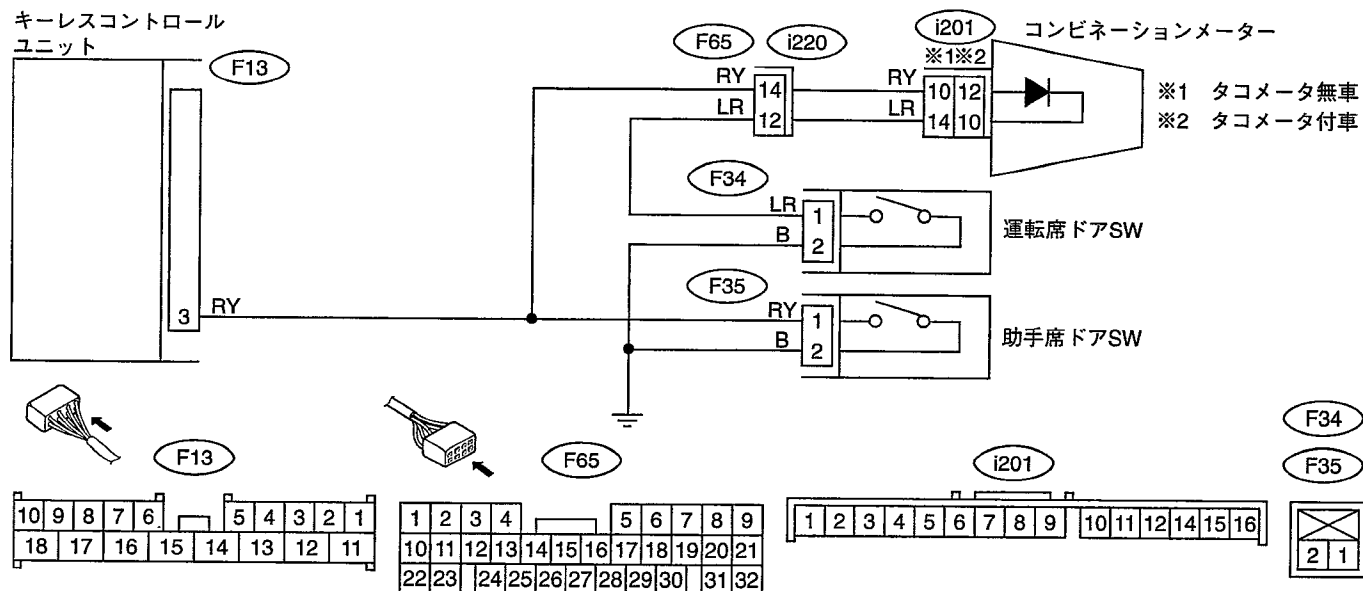


手順	作 業	基 準 値	基準値内の場合	基準値外の場合
1	ヒューズの点検 ヒューズボックス内の「ルーム・ハザード 15A」ヒューズを取外し、目視点検する	ヒューズは切れていない	ヒューズを取り付けて手順2へ	新品のヒューズに交換する
2	キーウォーニングSW回路の点検 1. キーレスコントロールユニットのコネクターを分離する 2. イグニッションSWにキーを差し込む 3. 以下のコネクター端子電圧を測定する • F13の1番端子とボディアース	10V以上	手順3へ	手順4へ
3	キーウォーニングSW回路の点検 1. キーをイグニッションSWから抜く 2. キーレスコントロールユニットのコネクターの以下の端子電圧を測定する • F13の1番端子とボディアース	0V	キーウォーニングSW回路は正常	手順4へ
4	キーウォーニングSWの点検 1. キーウォーニングSWのコネクターを分離する 2. イグニッションSWにキーを差し込む（ロック位置） 3. キーウォーニングSWの以下の端子間の導通を測定する • F14の1番端子と2番端子	導通あり (0Ω)	手順5へ	キーウォーニングSWを交換する

ボディ機能装備品

手順	作 業	基 準 値	基 準 値 内 の 場 合	基 準 値 外 の 場 合
5	キーウォーニングSWの点検 1. キーをイグニッションSWから抜く 2. キーウォーニングSWの以下の端子間の導通を点検する • F14の1番端子と2番端子	導通なし (1MΩ)	次の点検を行う • キーウォーニングSWとヒューズ間のハーネスの断線, ショート • キーレスコントロールユニットとキーウォーニングSW間のハーネスの断線, ショート	キーウォーニングSWを交換する

5. 前席ドアSW入力信号点検

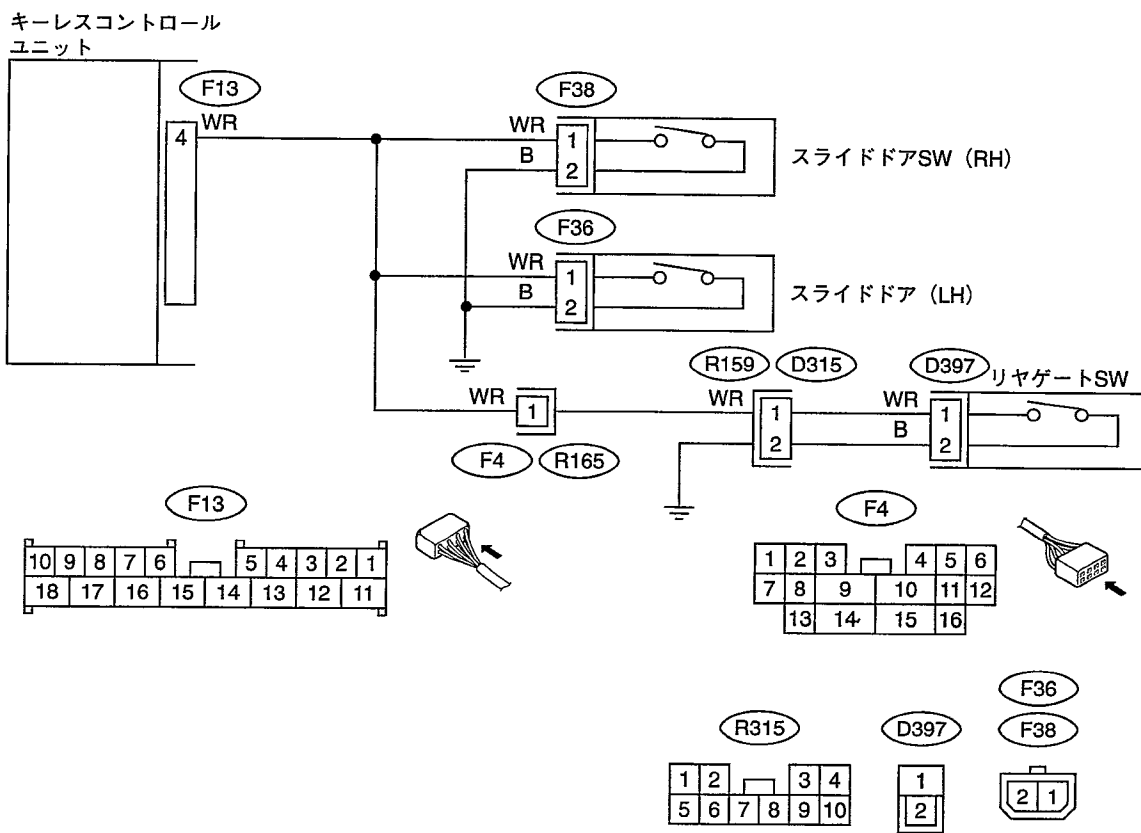


手順	作業	基準値	基準値内の場合	基準値外の場合
1	ドアSW回路の点検 前席両側ドアを閉めた状態にて、キーレスコントロールユニットの以下の端子電圧を測定する ・F13の3番端子とボディアース	10V以上	手順2へ	手順3へ
2	ドアSW回路の点検 前席左右ドアを片方ずつ開けてキーレスコントロールユニットの以下の端子電圧を各々測定する ・F13の3番端子とボディアース	約0V	ドアSW系は正常	手順3へ
3	コンビメーター回路の点検 キーレスコントロールユニット及びドアSWとコンビメーターを繋ぐ以下のハーネス端子間の導通を点検する ・F13の3番端子とF65の14番端子 ・F34の1番端子とF65の12番端子	導通あり (0Ω)	手順4へ	該当ハーネスの断線, ショートを点検

ボディ機能装備品

手順	作 業	基 準 値	基準値内の場合	基準値外の場合
4	コンビメーターの点検 コンビメーターとフロントハーネス端子間の以下の端子間の導通を点検する 1. フロントハーネス - i220の14番と12番端子（14番をプラス側で計測のこと） 2. コンビメーター ・タコメーター無し - i201の10番と14番端子（10番をプラス側で計測のこと） ・タコメーター付き - i201の12番と10番端子（12番をプラス側で計測のこと）	導通あり (0Ω)	手順5へ	該当のハーネスの断線 ショート又はコンビメーターの点検, 交換
5	ドアSWの点検 1. 前席ドアSWのハーネスコネクターを分離する 2. 各SWの作動部を押したときの下記SWの端子間の導通を点検する 運転席ドア ・F34の1番端子と2番端子 助手席ドア ・F35の1番端子と2番端子	導通なし (1MΩ以上)	手順6へ	基準値外のドアSWを交換する
6	ドアSWの点検 各SWの作動部を開放したときの下記SWの端子間の導通を点検する 運転席ドア ・F34の1番端子と2番端子 助手席ドア ・F35の1番端子と2番端子	導通あり (0Ω)	キーレスコントロールユニットとドアSW間のハーネスの断線, ショートを点検する	基準値外のドアSWを交換する

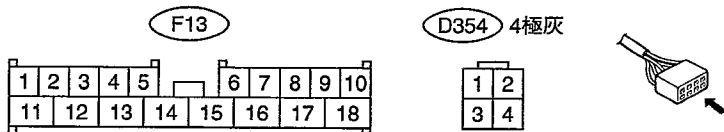
6. スライドドア, リヤゲートSW入力信号点検



手順	作業	基準値	基準値内の場合	基準値外の場合
1	スライドドアSW回路の点検 両スライドドアとリヤゲートを閉めた状態にて、キーレスコントロールユニットの以下の端子電圧を測定する • F13の4番端子とボディアース	10V以上	手順2へ	手順4へ
2	スライドドアSW回路の点検 左右スライドドアを片方ずつ開けてキーレスコントロールユニットの以下の端子電圧を各々測定する • F13の4番端子とボディアース	約0V	手順3へ	手順4へ
3	リヤゲートSW回路の点検 リヤゲートを開けてキーレスコントロールユニットの以下の端子電圧を測定する • F13の4番端子とボディアース	約0V	SW系は正常	手順6へ
4	スライドドアSWの点検 1. スライドドアSWのハーネスコネクタを分離する 2. 各SWの作動部を押したときのSW端子間の導通を点検する スライドドア (LH) • F36の1番端子と2番端子 スライドドア (RH) • F38の1番端子と2番端子	導通なし (1MΩ以上)	手順5へ	基準値外のドアSWを交換する

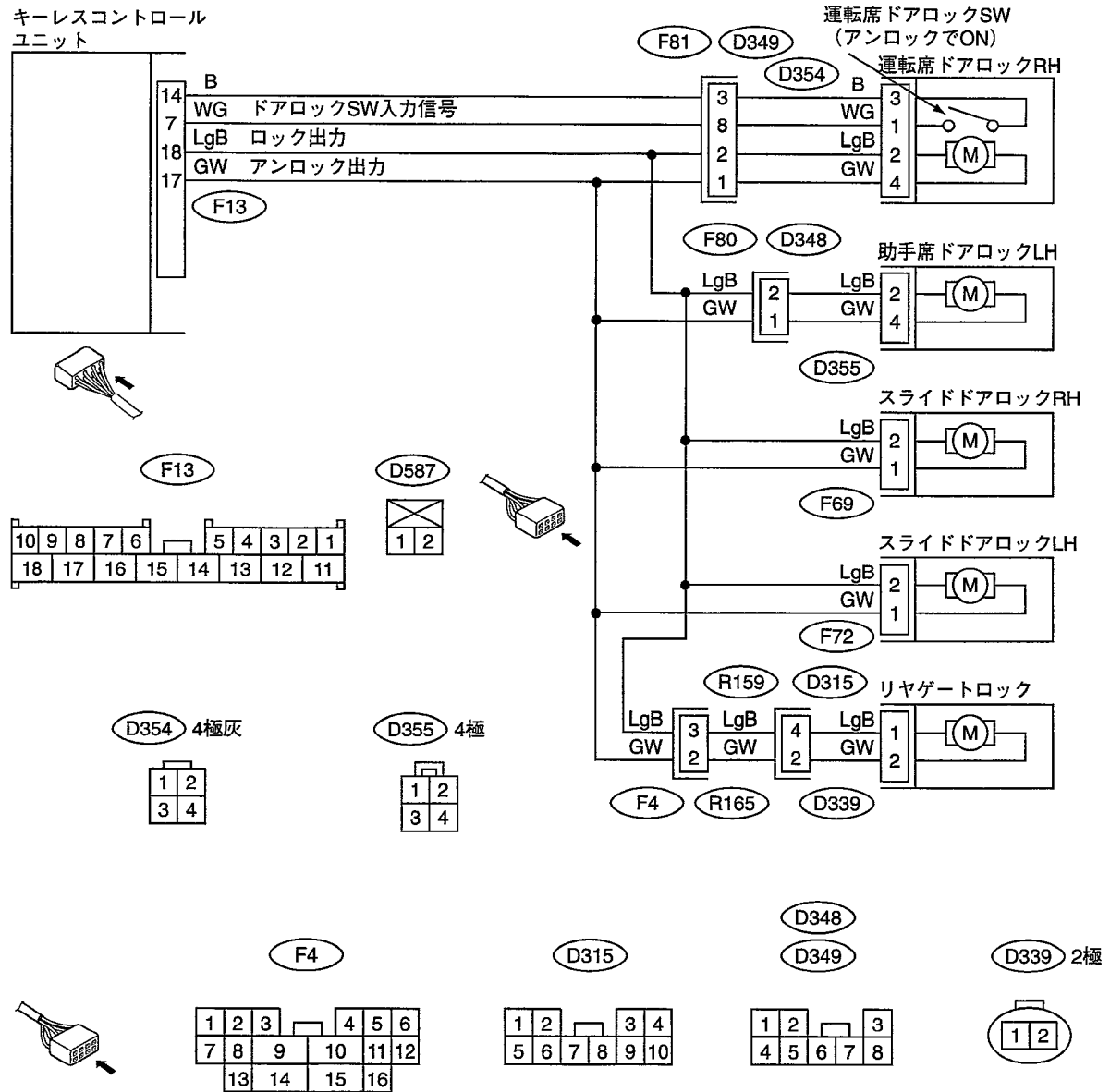
ボディ機能装備品

手順	作業	基準値	基準値内の場合	基準値外の場合
5	スライドドアSWの点検 各SWの作動部を開放したときのSWの端子間の導通を点検する スライドドア (LH) ・ F36の1番端子と2番端子 スライドドア (RH) ・ F38の1番端子と2番端子	導通あり (0Ω)	キーレスコントロールユニットとスライドドアSW間のハーネスの断線, ショートを点検する	基準値外のスライドドアSWを交換する
6	リヤゲートSWの点検 SWの作動部を押したときの以下の端子間の導通を点検する ・ D397の1番端子と2番端子	導通なし (1MΩ以上)	手順7へ	リヤゲートラッチを交換する
7	リヤゲートSWの点検 SWの作動部を開放したときの以下の端子間の導通を点検する ・ D397の1番端子と2番端子	導通あり (0Ω)	キーレスコントロールユニットとリヤゲートSW間のハーネスの断線, ショート及びコネクタの接触不良を点検する	リヤゲートラッチを交換する



100%

8. ドアロック出力信号点検

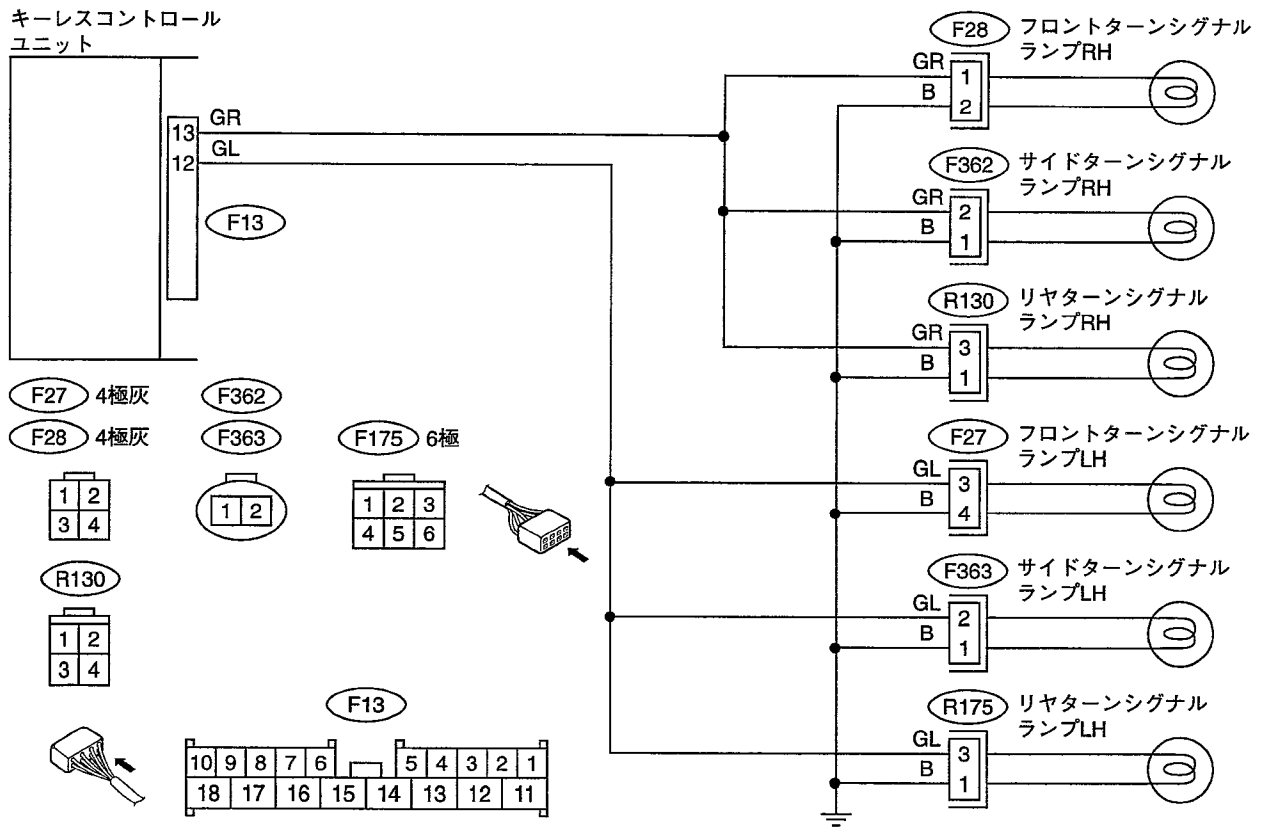


手順	作業	基準値	基準値内の場合	基準値外の場合
1	ロック出力信号の点検 1. キーレスコントロールユニットのコネクターを接続したまま、以下のコネクター端子電圧を2.の条件にて測定する • F13の18番端子とボディアース 2. 送信機でLock操作及び運転席ドアロックSWをロック側に操作する	ドアロック時にパルス出力する(10V以上)	手順2へ	送信機、ドアロックSW回路の点検修理後再確認し、異常の場合はキーレスコントロールユニットの不良が考えられる

ボディ機能装備品

手順	作 業	基 準 値	基 準 値 内 の 場 合	基 準 値 外 の 場 合
2	アンロック出力信号の点検 1. コネクターを接続したまま、以下のコネクター端子電圧を2.の条件にて測定する • F13の17番端子とボディアース 2. 送信機でOpen操作及び運転席ドアロックSWをアンロック側に操作する	ドアロック時にパルス出力する(10V以上)	アクチュエーター系回路の点検を行う	送信機、ドアロックSW回路の点検修理後再確認し、異常の場合はキーレスコントロールユニットの不良が考えられる

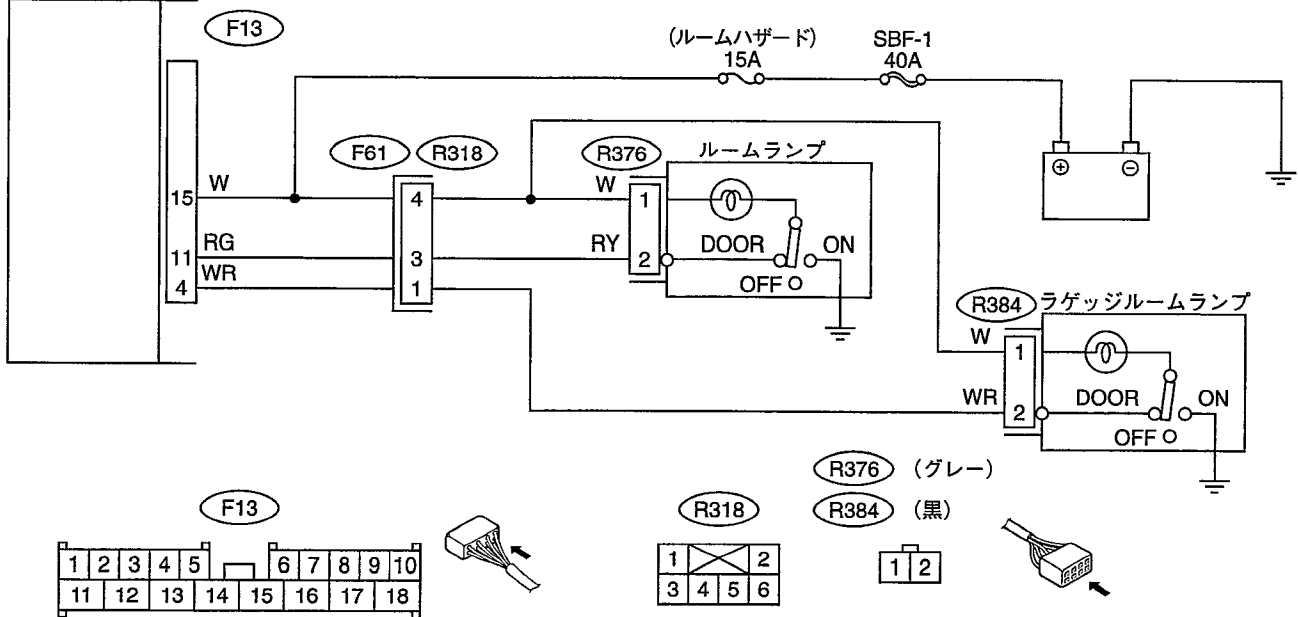
9. ハザードランプ出力信号点検



手順	作業	基準値	基準値内の場合	基準値外の場合
1	ハザードランプの作動点検 ハザードランプSWがONのとき、ハザードランプが点滅するか確認する	ハザードランプが点滅する	手順2へ	ハザードランプ回路を点検する
2	出力信号の点検 1. キーをイグニッションSWから抜く 2. 全てのドア及びリヤゲートを閉じる 3. 送信機のLock又はOpenボタンを操作したとき、キーレスコントロールユニットのハーネスコネクタの以下の端子電圧を測定する • F13の12番端子とボディアース • F13の13番端子とボディアース	10V以上	キーレスコントロールユニットとターンシグナルランプ間のハーネスの断線、ショートを点検する	キーレスコントロールユニットの異常

10. ルームランプ出力信号点検

キーレスコントロール
ユニット



手順	作業	基準値	基準値内の場合	基準値外の場合
1	ルームランプの作動点検 ルームランプSWがONのとき、ルームランプが点灯するか確認する	ルームランプは点灯する	手順2へ	ルームランプ回路を点検する
2	ルームランプ出力点検 1. キーをイグニッションSWから抜く 2. 全てのドア及びリヤゲートを閉じる 3. ルームランプSWをDOORの位置にする 4. 送信機のLockまたはOpenボタンを操作したとき、キーレスコントロールユニットのハーネスコネクタの以下の端子電圧を測定する • F13の11番端子とボディアース	0V	キーレスコントロールユニットとルームランプ間のハーネスの断線を点検する	キーレスコントロールユニットの異常